

～高知県の絶滅のおそれのある野生動物～

高知県レッドリスト(動物編)

2017改訂版

高 知 県

林業振興・環境部環境共生課

平成29年10月

目 次

高知県レッドリスト（動物編）2017 改訂版について

| | |
|----------------------------------|--------------|
| 1. 高知県レッドリスト（動物編）改訂の背景と目的 | ・ ・ ・ ・ ・ 1 |
| 2. 高知県レッドリスト（動物編）改訂の概要 | ・ ・ ・ ・ ・ 1 |
| 3. 各分類群における改訂の概要 | ・ ・ ・ ・ ・ 6 |
| 4. 高知県レッドデータブック（動物編）2018 の作成について | ・ ・ ・ ・ ・ 12 |

高知県レッドリスト（動物編）2017 改訂版

| | |
|------------------------|--------------|
| 高知県レッドリスト（哺乳類） | ・ ・ ・ ・ ・ 13 |
| 高知県レッドリスト（鳥類） | ・ ・ ・ ・ ・ 15 |
| 高知県レッドリスト（爬虫類） | ・ ・ ・ ・ ・ 24 |
| 高知県レッドリスト（両生類） | ・ ・ ・ ・ ・ 25 |
| 高知県レッドリスト（汽水・淡水産魚類） | ・ ・ ・ ・ ・ 26 |
| 高知県レッドリスト（汽水・淡水産十脚甲殻類） | ・ ・ ・ ・ ・ 31 |
| 高知県レッドリスト（昆虫類） | ・ ・ ・ ・ ・ 35 |
| 高知県レッドリスト（陸産貝類） | ・ ・ ・ ・ ・ 82 |
| 高知県レッドリスト（汽水・淡水産貝類） | ・ ・ ・ ・ ・ 87 |

注目種リスト

| | |
|---------|--------------|
| 注目種について | ・ ・ ・ ・ ・ 91 |
| 注目種リスト | ・ ・ ・ ・ ・ 92 |

高知県レッドリスト（動物編）2017 改訂版について

1. 高知県レッドリスト（動物編）改訂の背景と目的

高知県には多くの野生動植物が生息・生育し、それぞれの生態系の中で命を育んでいると同時に自然の恵みを私たちに与えてくれている。しかし近年、人間活動による自然環境への負荷の増加や気候の変動により野生動植物の多くが絶滅の危機にさらされていると考えられ、これらの保護対策を適切に推進していくためには野外での実態を正しく把握することが不可欠である。

環境省レッドデータブックは全国を対象にして作成されているため、個々の地域での種の生息・生育状況が必ずしも細かく反映されているとは言えない。そこで、高知県は県内に生息する絶滅のおそれのある動物の実態をとりまとめた「高知県レッドデータブック〔動物編〕」を平成 14 年 1 月に発行した。しかしながら、その発行から長い年月が経過し、内容の見直しが必要になってきたため、平成 26 年 4 月にレッドデータブックの改訂作業に着手し、絶滅のおそれのある野生動物について改めて評価を行うことにした。

通常、レッドデータブックの作成に先立ちレッドリストが公表される。レッドリストはレッドデータブックの基礎となるもので、絶滅のおそれのある野生動植物に関する県民の理解を深め、また、「高知県希少野生動植物保護条例」に基づく県指定希少野生動植物の選定、公共工事等における野生動植物への配慮計画、野生動植物の適切な保全と種の多様性の維持を目的とした各種事業等の基礎資料として活用されることを目的としたものである。

2. 高知県レッドリスト（動物編）改訂の概要

2-1 改訂の経緯

- (1) これまでの高知県におけるレッドリスト及びレッドデータブック発表の経緯は、平成 12 年 3 月 23 日に「高知県動物版レッドリスト」を公表、平成 13 年 9 月 25 日に同リストを変更、平成 14 年 1 月 31 日に「高知県レッドデータブック〔動物編〕」を発行となっている。
- (2) 改訂に当たっては、平成 26 年度に「高知県レッドデータブック（動物編）改訂委員会（以下「委員会」という。）」（事務局：高知県林業振興・環境部環境共生課）を設置した。
- (3) 委員会委員は、野生動物について専門的知識を有する者の中から、平成 26 年 6 月 11 日に知事が委嘱した。委員は哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、汽水・淡水産魚類、汽水・淡水産十脚甲殻類、昆虫類、陸・汽水・淡水産貝類の各分科会に所属している。各分科会では、分科会長を中心に調査や情報収集を行い、得られた知見を基に改訂作業を行った。

2-2 改訂の体制

高知県レッドデータブック（動物編）改訂委員会

| 氏名 | 分科会名 | 所属等 | 備考 |
|--------|----------------|--|----------------------------------|
| 伊谷 行 | 汽水・淡水産十脚甲殻類分科会 | 国立大学法人高知大学 教育学部 准教授 | 平成28年3月 17日から副委員長 |
| 斉藤 知己 | 爬虫類・両生類分科会 | 国立大学法人高知大学 総合研究センター海洋生物研究教育施設 准教授 | |
| 佐藤 重穂 | 鳥類分科会 | 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 元四国支所 流域森林保全研究グループ長 | 平成27年10 月30日解嘱、 同日まで委員長 |
| 中山 紘一 | 昆虫類分科会 | 高知昆虫研究会 会長 | |
| 濱田 哲暁 | 鳥類分科会 | 株式会社東洋電化テクノリサーチ 技術部専門職 | 平成27年12 月24日委嘱 |
| 町田 吉彦 | 汽水・淡水産魚類分科会 | 国立大学法人高知大学 名誉教授 | 平成28年3月 17日まで副委員長、同日か ら委員長 |
| 三本 健二 | 陸・汽水・淡水産貝類分科会 | 四国貝類談話会 | |
| 谷地森 秀二 | 哺乳類分科会 | 認定特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター センター長 | |

（敬称略。50音順。所属は平成29年4月1日現在。）

2-3 高知県レッドリスト（動物編）2017改訂版のカテゴリーと判定基準について

基本的には、「環境省レッドリストのカテゴリーと判定基準」に準じた。ただし、カテゴリーの要件については、環境省カテゴリーの定性的要件のみを採用し、絶滅危惧I類については、絶滅危惧IA類と絶滅危惧IB類に区分していない。

改訂版カテゴリー区分

| 区分及び基本概念 | 具体的要件 |
|--|---|
| <p>絶滅 Extinct (EX) 本県ではすでに絶滅したと考えられる種（亜種を含む。以下同じ。）</p> | <p>環境省カテゴリーの「絶滅」に相当</p> <hr/> <p>過去に本県に生息したことが確認されており、飼育下を含め、本県ではすでに絶滅したと考えられる種</p> |
| <p>野生絶滅 Extinct in the Wild (EW) 飼育下でのみ存続している種</p> | <p>環境省カテゴリーの「野生絶滅」に相当</p> <hr/> <p>過去に本県に生息したことが確認されており、飼育下では存続しているが、本県において野生ではすでに絶滅したと考えられる種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <p>①信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。</p> <p>②信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。</p> <p>【情報量が少ないもの】</p> <p>③過去50年間前後の間に、信頼できる生息の情報が得られていない。</p> |
| <p>絶滅危惧 I 類 Critically Endangered + Endangered (CR+EN) 本県において絶滅の危機に瀕している種</p> <p>現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。</p> | <p>環境省カテゴリーの「絶滅危惧 I 類」に相当</p> <hr/> <p>次のいずれかに該当する種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <p>① 既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。</p> <p>② 既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。</p> <p>③ 既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。</p> <p>④ ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。</p> <p>【情報量が少ないもの】</p> <p>⑤それほど遠くない過去(30年～50年)の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>絶滅危惧Ⅱ類 Vulnerable (VU) 本県において絶滅の危険が増大している種</p> <p>現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」の категорияに移行することが確実と考えられるもの。</p> | <p>環境省カテゴリーの「絶滅危惧Ⅱ類」に相当</p> <p>次のいずれかに該当する種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <p>① 大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 ② 大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 ③ 大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④ 分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。</p> |
| <p>準絶滅危惧 Near Threatened (NT) 存在基盤が脆弱な種</p> <p>本県において、現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位カテゴリーに移行する要素を有するもの。</p> | <p>環境省カテゴリーの「準絶滅危惧」に相当</p> <p>次に該当する種</p> <p>生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。</p> <p>具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。</p> <p>① 個体数が減少している。 ② 生息条件が悪化している。 ③ 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 ④ 交雑可能な別種が侵入している。</p> |
| <p>情報不足 Data Deficient (DD) 評価するだけの情報が不足している種</p> | <p>環境省カテゴリーの「情報不足」に相当</p> <p>次に該当する種</p> <p>環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性（具体的には、次のいずれかの要素）を有しているが、生息状況をはじめとして、カテゴリーを判定するに足る情報が得られていない種。</p> <p>① どの生息地においても生息密度が低く希少である。 ② 生息地が局限されている。 ③ 生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）。 ④ 生活史の一部又は全部で特殊な環境条件を必要としている。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>■付属資料</p> <p>絶滅のおそれのある地域個体群</p> <p>Threatened Local Population (LP)</p> <p>地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。</p> | <p>環境省カテゴリーの「絶滅のおそれのある地域個体群」に相当</p> <p>次のいずれかに該当する地域個体群</p> <p>① 生息状況、学術的価値等の観点から、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される種の地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルで見た場合、絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの。</p> <p>② 地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。</p> |
|---|--|

3. 各分類群における改訂の概要

【哺乳類】

- ① クジラ類と本県ではまれにしか確認されない^{ききやくろい}鯨脚類（アシカやアザラシの仲間）は対象外とした。
- ② 絶滅のおそれのある種（絶滅危惧Ⅰ類及び絶滅危惧Ⅱ類）の総数は、改訂前と同数の3種となったが、構成種に変化がありニホンカモシカを加え、ヤマネを除外した。
- ③ ニホンカワウソは、本改訂のために実施した哺乳類調査等では、生息の可能性が高い情報は得られていないが、カワウソと思われる動物を目撃したという県民からの情報が現在でも報告されることから、絶滅したかどうかの判断が困難であるため、絶滅危惧Ⅰ類とした。
- ④ ツキノワグマは、繁殖が確認されているものの生息地が局限化し、さらに個体数回復の兆しがないことから近い将来における絶滅の可能性がきわめて高いと判断され、絶滅危惧Ⅰ類とした。
- ⑤ ヤマネは、最近の調査により海岸近くの低標高地から四国山地上部の高標高地までのスギ・ヒノキ植林を含む多様な森林環境で確認されたことから、生息個体数は多いと考えられ、リストから除外した。
- ⑥ ニホンカモシカは、ニホンジカの分布域の拡大と個体群の高密度化、スギやヒノキなどの植林木の成長に伴う森林内の環境変化などにより、大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつあるため、絶滅危惧Ⅱ類とした。
- ⑦ シントウトガリネズミ、ヒメヒミズ、アズマモグラの3種は、これまで確認された高標高地域においてニホンジカの生息範囲の拡大並びに生息密度増加に伴う森林内の下層植生の変化、風力発電施設や大規模太陽光発電施設の設置などによる生息環境の悪化が予想されるので、準絶滅危惧とした。
- ⑧ 改訂前のレッドリスト発表以降の調査で、県内に生息するコウモリ目の種数は増加した。しかしながら、いずれの種も生息確認地はわずかであったためにほとんどの種を情報不足とした。

【鳥類】

- ① 改訂前の掲載種98種に、環境省やIUCNの見直しによりレッドリストに掲載された種、過去10年間で県内の生息および繁殖環境が悪化したと考えられる種、情報量が不十分で迷鳥か判断がつかなかった種を加えた候補種118種を選定し、過去10年余りのデータに基づき新ランクを検討した。
- ② 絶滅のおそれのある種の総数は、改訂前は48種だったが、本改訂では51種となり3種増加した。
- ③ 絶滅危惧Ⅰ類については、個体数の少ない生態系の上位種と開発等による湿地や水辺の生息環境の変化により個体数が減少したと思われる種を選定した。ヒメウとサンカノゴイを新たに選定し、ヨシゴイはランクを上げた。
- ④ 絶滅危惧Ⅱ類については、湿地、湿田や干潟等の消失の影響、四国山地で増加したニホ

ンジカの食害による森林環境の変化、人里近くの繁殖地の減少等により、種の存続が危惧される可能性のある種を選定した。タシギを新たに選定し、コマドリ、コシアカツバメ等はランクを上げた。一方、環境省等の調査で個体数が把握されているマナヅル、ナベヅル、カンムリウミスズメはランクを下げた。

- ⑤ 準絶滅危惧については、農耕地や河川敷など人里で繁殖するヒクイナやイカルチドリ等を新たに選定した。また、里山に生息するヤマドリ、コサメビタキと四国山地が繁殖の南限であり、越冬個体の分布も限定的であるルリビタキ、ビンズイは情報不足から準絶滅危惧に変更した。
- ⑥ 生息情報が少ないミコアイサ、ウミアイサ、ツミは今後の情報収集に努めることとし、絶滅危惧 IA 類又は IB 類から情報不足に変更した。
- ⑦ 本改訂では、個体数の増加や分布が広く確認された種と確認情報が少なく、迷鳥レベルと判断した種はリストから除外した。また、国内で越冬分布域の変化が大きい種や、渡り鳥としての飛来数の年変動が大きい種についてもリストから除外した。

【爬虫類】

- ① 絶滅のおそれのある種の総数は、改訂前は1種だったが、本改訂では2種となり、1種増加した。
- ② アカウミガメについては、改訂前のレッドリストと同様に、県内の主要な産卵海岸において、砂浜や周辺環境の悪化によって上陸・産卵個体数が減少の一途をたどっているため絶滅危惧 I 類とした。
- ③ アオウミガメについては、県内の沿岸藻場を摂餌場として利用しているが、その周辺環境の悪化によって生息が脅かされているため絶滅危惧 II 類とした。
- ④ 情報不足としたタワヤモリについては、県内中部・東部、内陸部の生息情報を欠き、生息数が著しく少ないと考えられる。
- ⑤ ニホンスッポンについては、生息情報は少なくはないものの、県内で養殖が行われている事例もあり、移入個体か在来個体であるかの科学的研究も不十分であること、野外での実態が不明であることなどの理由から改訂前と同様に情報不足とした。
- ⑥ 準絶滅危惧としていたヒバカリと情報不足としていたヘビ類3種は、本改訂に伴う調査において、ある一定の生息数と分布が確認されたのでリストから除外した。

【両生類】

- ① 絶滅のおそれのある種の総数は、改訂前は4種だったが、本改訂では5種となり、1種増加した。
- ② そのうち有尾目が4種で、大きな割合を占めている。これらは、森林または低地の流水域から止水域の水辺と陸域など多様な環境に生息する種類であり、森林部では林道建設等の開発に伴う移動経路の寸断、皆伐による土地の乾燥化や産卵場の消滅等により生息が脅かされている。
- ③ 準絶滅危惧種としていたニホンアカガエルについては、近年、低地部での減少傾向が著

しいため絶滅危惧Ⅰ類とした。

- ④ オオサンショウウオについては、移入とみなされた事例は多々あるものの、近年の調査及び本改訂に伴う調査において県内での自然繁殖が確認され、これらが在来の個体である可能性が否定できない。その場合、四国に隔離分布する絶滅危惧Ⅰ類となりうる。科学研究の裏付けのある判断がなされるまで改訂前と同様に情報不足とした。
- ⑤ 準絶滅危惧種としていたトノサマガエルは、本改訂に伴う調査において多くの生息数と分布が確認されたのでリストから除外したが、生息地である低湿地等の開発には依然として注意が必要である。

【汽水・淡水産魚類】

- ① 絶滅のおそれのある種の総数は、改訂前は 25 種だったが、本改訂では 18 種となり、7 種減少した。
- ② 絶滅危惧ⅠA 類としていたスナヤツメ、同ⅠB 類のヤリタナゴ、シロウオ、イドミミズハゼ、ヒナインドジョウ、ミナミメダカを絶滅危惧Ⅰ類とした。
- ③ ドジョウ、オオシマドジョウ、トサシマドジョウ、モツゴは絶滅の危険度が増加し、また、アマゴ（在来亜種）を新たに絶滅危惧Ⅰ類とした。
- ④ 絶滅危惧ⅠA 類のチワラスボ属ⅠC 種と同ⅠB 類のオオウナギのランクを下げた。
- ⑤ ドンコは県東部と中部で個体数と生息地が減少しており、新たに絶滅危惧Ⅱ類とした。
- ⑥ 外海の影響を強く受ける種はいずれもランクを下げるかリストから除外した。
- ⑦ 個体数の減少から、フナ（在来個体群）、ヌマチチブ、ニホンウナギを新たに準絶滅危惧とした。
- ⑧ ギギとアカザは形態の詳細な比較検討と遺伝子分析が必要であり、情報不足とした。
- ⑨ 絶滅危惧ⅠA 類のアカメは県内の岸沿いと内湾に広く分布することから、リストから除外した。ただし、本県の自然を代表すると考えられる注目種とした。
- ⑩ 広範囲に分布することが判明した種はランクを下げるかリストから除外した。ただし、他県で減少傾向にある種、情報が少ない種は注目種とした。また、情報が曖昧だった種、無効分散と判断された種はリストから除外した。
- ⑪ 他県から移入されたことが新たに判明した種はリストから除外した。

【汽水・淡水産十脚甲殻類】

- ① 本改訂では、河口干潟だけではなく、内湾域の干潟に生息する種も対象とした。
- ② その結果、絶滅のおそれのある種の総数は、改訂前は 4 種だったが、本改訂では 19 種となり、15 種増加した。
- ③ 絶滅のおそれのある種のほとんどは、干潟を主な生息場所としている。本改訂事業中にも、浦ノ内湾で干潟の埋立てが行われ、四万十川・竹島川河口では大規模な環境改変工事が進行中であることから、絶滅のおそれのある種はもちろん、準絶滅危惧とした種やランク外の種でも、その生息場所や個体数の減少には細心の注意が必要である。
- ④ 絶滅のおそれのある種には、干潟内の砂泥地に生息する種だけではなく、ハクセンシオ

マネキヤフジテガニなど潮間帯上部や潮上帯に生息する種、ハマガニなど後背地の土手を必要とする種も含まれており、周辺環境も含めた干潟の保全が必要である。

- ⑤ 絶滅のおそれのある種には、ツバサゴカイの棲管内に生息するウチノミカニダマンなど共生性の種も含まれており、干潟内の種のつながりにも留意する必要がある。
- ⑥ 淡水産の十脚甲殻類では、ミナミテナガエビなど一部の河川で個体数が減少している種も準絶滅危惧として含めた。

【昆虫類】

- ① 絶滅のおそれのある種の総数は、改訂前は 94 種だったが、本改訂では 108 種となり、14 種増加した。
- ② 絶滅種については、タガメ、チャマダラセセリを絶滅危惧 IA 類から絶滅種に変更し、ヤマトオサムシダマンを情報不足から絶滅種に変更した。これらの種は比較的目立つ形状をしており、関心を持つアマチュア研究者も多いため、生息していれば発見は容易である。しかし、生息情報は全く得られず、生息地の環境も改変されているため、生息の可能性はないと判断した。
- ③ カドタメクラチビゴミムシは、かつて唯一の生息地であった洞窟（現在は消滅）近くの土壌内で、複数の生存個体が発見されたとの学術論文が公表されたため、絶滅種から絶滅危惧 I 類に変更した。
- ④ 絶滅危惧 I 類については、改訂前のレッドリストの絶滅危惧 IA 類、絶滅危惧 IB 類のほとんどが含まれたが、一部生息確認場所の増加、個体数の増加が認められた種はランクを下げるるとともに、移動性が強く、国内外来種と推定される種についてはリストから除外した。
- ⑤ 絶滅危惧 II 類、準絶滅危惧については、近年個体数が激減していると思われた種を中心にランクを上げた。県内に広く分布していることが確認された種などはランクを下げるあるいはリストから除外したが、これらは生息環境の改善で分布が拡大したのではなく、調査員がより細かく調査した結果である。情報不足もいくつかの種を同様の理由でリストから除外した。
- ⑥ コルリクワガタ、ニセコルリクワガタ、ルリクワガタの 3 種については、国有林保護林内に生息し、生息環境が安定しており、生息地内では個体数が多いと考えられるため、リストから除外した。

【陸産貝類】

- ① 本改訂のための調査では、個体数が更に減少している種、県内でこれまでに記録のなかった種などが見いだされた。
- ② その結果、絶滅のおそれのある種の総数は、改訂前は 25 種だったが、本改訂では 40 種となり、15 種増加した。
- ③ 絶滅のおそれのある種の半数以上は、樹木に依存する種及び石灰岩地に限って生息する種である。

- ④ 絶滅危惧 IA 類及び IB 類としていた種は、いずれも絶滅危惧 I 類とした。
- ⑤ 絶滅危惧 II 類のうち、イヨギセルは生息状況から絶滅危惧 I 類に変更し、シコクビロウドマイマイはトサビロウドマイマイと同種（同物異名）とされたためリストから除外し、その他の種は絶滅危惧 II 類のままとした。
- ⑥ 準絶滅危惧種のうち、コシボソギセル、オオギセル、モリヤギセル、シコクベッコウ、アワクリイロベッコウ、ハダカケマイマイ、カドバリオトメマイマイ、スミスオトメマイマイ及びギュリキマイマイは、個体数が減少しているため絶滅危惧 II 類に変更した。
- ⑦ 県内で初めて確認されたサルダアツブタムシオイ、シロハダギセル、カタマメマイマイ及びカワリダネビロウドマイマイは、その生息状況から絶滅危惧 I 類とした。
- ⑧ 絶滅危惧 I 類として追加したムロトキセルガイモドキ及びムロトマイマイ並びに絶滅危惧 II 類として追加したシタヅキギセル (*Megalophaedusa platyderula*) は、改訂前のレッドリスト決定時にはそれぞれ他の種の同物異名とみなされていたが、今回は独立種として扱い、それぞれの生息状況から絶滅危惧 I 類又は II 類とした。

【汽水・淡水産貝類】

- ① 本改訂では、汽水・淡水域に加えて、内湾海水域の干潟に生息する種（内湾と外海の両方に生息する種を除く。）を対象とした。
- ② その結果、絶滅のおそれのある種の総数は、改訂前は 11 種だったが、本改訂では 15 種となり、4 種増加した。
- ③ 絶滅のおそれのある種の多くは、汽水域に生息する種及び内湾海水域の干潟に生息する種である。
- ④ 絶滅危惧 IA 類としていた種のうち、ヒロクチカノコ、ナラビオカミミガイ及びミズコハクガイは絶滅危惧 I 類とし、カワアイ及びヘナタリは数か所で群生が確認されたため準絶滅危惧種に、イシガイ及びマツカサガイは過去の情報が不確かであるため情報不足に変更した。絶滅危惧 IB 類のミズゴマツボは、1 か所で広範囲に生息することが確認されたため、絶滅危惧 II 類に変更した。
- ⑤ 絶滅危惧 II 類としていた種のうち、ツバサコハクカノコ及びフトヘナタリは、数地点で多数生息することが確認されたため、準絶滅危惧種に変更した。
- ⑥ 内湾海水域の干潟に生息する種は、その生息状況から、ツボミ、イボウミニナ、ヒメアカガイ、マスオガイ及びムラサキガイを絶滅危惧 I 類、ヒメカノコ、ヤマトクビキレガイ、カハタレカワザンショウ、ユキガイ及びマゴコロガイを絶滅危惧 II 類とした。

表1. 選定結果一覧

| | 哺乳類 | 鳥類 | 爬虫類 | 両生類 | 汽水・淡水産 魚類 | 汽水・淡水産 十脚甲殻類 | 昆虫類 | 陸産 貝類 | 汽水・淡 水産貝類 | 合計 |
|-------------------|------------|------------|----------|----------|--------------|-----------------|--------------|------------|--------------|--------------|
| 絶滅 (EX) | 1 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (1) | 0 (0) | 12 (10) | 0 (0) | 0 (0) | 14 (12) |
| 野生絶滅 (EW) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| 絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) | 2 (2) | 23 (28) | 1 (1) | 3 (2) | 11 (17) | 9 (3) | 47 (44) | 19 (12) | 8 (8) | 123 (117) |
| 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) | 1 (1) | 28 (20) | 1 (0) | 2 (2) | 7 (8) | 10 (1) | 61 (50) | 21 (13) | 7 (3) | 138 (98) |
| 準絶滅危惧 (NT) | 5 (3) | 36 (39) | 0 (1) | 1 (3) | 12 (11) | 9 (4) | 226 (245) | 10 (21) | 14 (7) | 313 (334) |
| 情報不足 (DD) | 6 (6) | 5 (11) | 2 (4) | 1 (1) | 8 (10) | 7 (11) | 186 (222) | 2 (1) | 5 (2) | 222 (268) |
| 計 | 15 (13) | 92 (98) | 4 (6) | 7 (8) | 39 (47) | 35 (19) | 532 (571) | 52 (47) | 34 (20) | 810 (829) |
| (地域個体群) LP | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (7) | 1 (0) | 3 (3) | 0 (0) | 0 (0) | 5 (10) |

() 内数字は、「高知県レッドデータブック〔動物編〕(2002年)」掲載種数。

4. 高知県レッドデータブック（動物編）2018 の作成について

今後、レッドリスト掲載種について、種ごとに解説等を付したレッドデータブックの作成作業を行い、2018 年中に発行する予定である。

また、高知県レッドデータブック（植物編）については、改訂作業を進めている。

高知県レッドリスト(哺乳類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|------------|-----------------------------------|------------|---|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| ネコ | イヌ | オオカミ | <i>Canis lupus</i> | 絶滅 | 新たな生息情報は得られない。 | | 絶滅 | 絶滅 |
| ネコ | クマ | ツキノワグマ | <i>Ursus thibetanus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体群が危機的水準にまで減少している。 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅のおそれのある地域個体群 |
| ネコ | イタチ | ニホンカワウソ | <i>Lutra nippon</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 絶滅危惧Ⅰ類の具体的要件「それほど遠くない過去(30年～50年)の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。」に相当するため。 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅 |
| ウシ | ウシ | ニホンカモシカ | <i>Capricornis crispus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 | | 準絶滅危惧 | 絶滅のおそれのある地域個体群 |
| モグラ | トガリネズミ | シントウトガリネズミ | <i>Sorex shinto</i> | 準絶滅危惧 | 高標高地域に限られ、情報数も少ない。 | | 情報不足 | 準絶滅危惧 |
| モグラ | モグラ | ヒメヒミズ | <i>Dymecodon pilirostris</i> | 準絶滅危惧 | 高標高地域に限られ、情報数も少ない。 | | | |
| モグラ | モグラ | アズマモグラ | <i>Mogera imaizumii</i> | 準絶滅危惧 | 高標高地域に限られ、情報数も少ない。 | | 情報不足 | |
| コウモリ | ヒナコウモリ | ノレンコウモリ | <i>Myotis bombinus</i> | 準絶滅危惧 | 高標高地域に限られ、情報数も少ない。 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| ネズミ | リス | ニホンモモンガ | <i>Pteromys momonga</i> | 準絶滅危惧 | 広範囲で確認されているが、広葉樹林地域に限られ、情報数も少ない。 | | 準絶滅危惧 | |
| コウモリ | ヒナコウモリ | ヤマコウモリ | <i>Nyctalus aviator</i> | 情報不足 | 確認例は極めて少ない。 | | 情報不足 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| コウモリ | ヒナコウモリ | モリアブラコウモリ | <i>Pipistrellus endoi</i> | 情報不足 | 生息地が局限されている。 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| コウモリ | ヒナコウモリ | チチブコウモリ | <i>Barbastella darjelingensis</i> | 情報不足 | 生息地が局限されている。 | | | 絶滅のおそれのある地域個体群 |
| コウモリ | ヒナコウモリ | ニホンウサギコウモリ | <i>Plecotus sacrimontis</i> | 情報不足 | 生息地が局限されている。 | | | 絶滅のおそれのある地域個体群 |

高知県レッドリスト(哺乳類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|------------|-----------------------------------|------------|------------------------------------|-----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウモリ | ヒナコウモリ | クロホオヒゲコウモリ | <i>Myotis pruinus</i> | 情報不足 | 生息地が局限されている。 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| コウモリ | オヒキコウモリ | オヒキコウモリ | <i>Tadarida insignis</i> | 情報不足 | 生息地が局限されている。 | | 情報不足 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| モグラ | トガリネズミ | カワネズミ | <i>Chimarrogale platycephalus</i> | 除外 | 本県における確実な生息記録がない。 | | 情報不足 | |
| コウモリ | ヒナコウモリ | テングコウモリ | <i>Murina hilgendorfi</i> | 除外 | 確認例は少ないが確認された環境は多様で、生息個体数は多いと思われる。 | | 情報不足 | |
| ネズミ | ヤマネ | ヤマネ | <i>Glirulus japonicus</i> | 除外 | 確認例は少ないが確認された環境は多様で、生息個体数は多いと思われる。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| ネズミ | リス | ニホンリス | <i>Sciurus lis</i> | 除外 | 四国山地に広く生息している。 | 注目種 | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(鳥類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-----|---------|----------------------------------|------------|--------------------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| キジ | キジ | ウズラ | <i>Coturnix japonica</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地の河川敷草地や農耕地の減少。 | | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| ハト | ハト | カラスバト | <i>Columba janthina</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 県西部の離島にのみ局地的に生息。 | | 絶滅危惧IA類 | 準絶滅危惧 |
| カツオドリ | ウ | ヒメウ | <i>Phalacrocorax pelagicus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 冬季に土佐湾沿岸の岩礁帯に少数が飛来。 | | | 絶滅危惧IB類 |
| ペリカン | サギ | サンカノゴイ | <i>Botaurus atellaris</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息適地の湿地の減少。 | | | 絶滅危惧IB類 |
| ペリカン | サギ | ヨシゴイ | <i>Ixobrychus sinensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 繁殖地のヨシ原などの減少。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| ツル | クイナ | クイナ | <i>Rallus aquaticus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 湿地や水田などの生息環境が減少。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| チドリ | チドリ | ケリ | <i>Vanellus cinereus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 農耕地や河川敷など生息環境が減少。 | | 絶滅危惧IA類 | 情報不足 |
| チドリ | シギ | オオジシギ | <i>Gallinago hardwickii</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 過去に四国カルストの繁殖記録はあるが、久しく繁殖の確認はない。 | | 絶滅危惧IA類 | 準絶滅危惧 |
| チドリ | シギ | コシャクシギ | <i>Numenius minutus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 稀に渡りの時期に単独もしくは小群で農耕地に飛来。 | | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧IB類 |
| チドリ | シギ | ダイシャクシギ | <i>Numenius arquata</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 河口干潟や農耕地に単独もしくは小群で飛来。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| チドリ | シギ | ハウロクシギ | <i>Numenius madagascariensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 河口干潟や農耕地に単独もしくは小群で飛来。 | | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| チドリ | カモメ | コアジサシ | <i>Sterna albifrons</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 河川敷や海岸など県内数箇所繁殖するが、繁殖環境が悪く失敗することが多い。 | | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| タカ | ミサゴ | ミサゴ | <i>Pandion haliaetus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 水辺環境の改善により回復基調にあるが、繁殖個体は多くはない。 | | 絶滅危惧IB類 | 準絶滅危惧 |

高知県レッドリスト(鳥類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|--------------------|---------------------------------|------------|--|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| タカ | タカ | ハチクマ | <i>Pernis ptilorhynchus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 繁殖確認事例は報告されるようになったが、繁殖個体は多くはない。 | | 絶滅危惧IB類 | 準絶滅危惧 |
| タカ | タカ | チュウヒ | <i>Circus spilonotus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 越冬に適した広さの農耕地や河川敷などの生息環境が少なく個体数は少ない。 | | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧IB類 |
| タカ | タカ | オオタカ | <i>Accipiter gentilis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 繁殖確認事例は増えたが、繁殖個体は少ない。 | | 絶滅危惧IA類 | 準絶滅危惧 |
| タカ | タカ | クマタカ | <i>Spizaetus nipalensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 繁殖環境の森林の伐採や開発などにより繁殖個体は少ない。 | | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧IB類 |
| フクロウ | フクロウ | コノハズク | <i>Otus scops</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息環境が限られ、局地的に分布している。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| フクロウ | フクロウ | コミミズク | <i>Asio flammeus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 越冬に適した広さの農耕地や河川敷などの生息環境が少なく個体数は少ない。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| ハヤブサ | ハヤブサ | ハヤブサ | <i>Falco peregrinus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 繁殖確認事例は増えたが、繁殖個体は少ない。 | | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| スズメ | ヤイロチョウ | ヤイロチョウ | <i>Pitta brachyura</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 繁殖確認事例は増えたが、繁殖個体は少ない。 | | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧IB類 |
| スズメ | サンショウクイ | サンショウクイ(亜種サンショウクイ) | <i>Pericrocotus divaricatus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 近年個体数が減少しており、亜種リュウキュウサンショウクイに置き換わってきている。 | | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| スズメ | カラス | ホシガラス | <i>Nucifraga caryocatactes</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 四国山地の亜高山帯に少数が生息する。 | | 絶滅危惧IA類 | |
| カモ | カモ | ヨシガモ | <i>Anas falcata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 増加傾向にあり、300羽ぐらいを確認。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| カモ | カモ | ハシビロガモ | <i>Anas clypeata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 増加傾向にあるが、年による増減幅が大きい。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| カモ | カモ | トモエガモ | <i>Anas formosa</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 年による増減幅が大きく平均20羽程度を確認。 | | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |

高知県レッドリスト(鳥類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|-----------|------------------------------------|------------|--------------------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| ミズナギドリ | ミズナギドリ | オオミズナギドリ | <i>Calonectris leucomelas</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 県西部の離島で繁殖する。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| ペリカン | サギ | ミゾゴイ | <i>Nycticorax goisagi</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 里山の開発等で生息環境が悪化し情報量も減少。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| ペリカン | サギ | ササゴイ | <i>Butorides striatus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 繁殖コロニーが著しく減少し、個体数が減少。 | | 準絶滅危惧 | |
| ツル | ツル | マナヅル | <i>Grus vipio</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 越冬のため、稀に数羽が飛来する程度。 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| ツル | ツル | ナベヅル | <i>Grus monacha</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 越冬のため数十羽が飛来するが、個体数の年変動が大きく、越冬群の定着は稀。 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| チドリ | チドリ | ダイゼン | <i>Pluvialis squatarola</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 河口干潟や農耕地の生息環境が悪化。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チドリ | シギ | ヤマシギ | <i>Scolopax rusticola</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 山間部から平地の生息環境が悪化し情報量も減少。 | | 準絶滅危惧 | |
| チドリ | シギ | タシギ | <i>Gallinago gallinago</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 湿田、湿地等生息環境が減少。 | | | |
| チドリ | シギ | サルハマシギ | <i>Calidris ferruginea</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 河口干潟や農耕地に少数が飛来。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チドリ | シギ | キリアイ | <i>Limicola falcinellus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 河口干潟や農耕地に少数が飛来。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チドリ | タマシギ | タマシギ | <i>Rostratula benghalensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 湿田、湿地等、繁殖環境が減少。 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| チドリ | ウミスズメ | カンムリウミスズメ | <i>Synthliboramphus wumizusume</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 県西部の離島で繁殖。 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| タカ | タカ | ハイロチュウヒ | <i>Circus cyaneus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 越冬に適した広さの農耕地や河川敷などの生息環境が少なく、個体数は少ない。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |

高知県レッドリスト(鳥類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|---------------------|----------------------------------|------------|--------------------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| タカ | タカ | ハイタカ | <i>Accipiter nisus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 山地から平野に飛来して越冬するが、越冬環境が悪化。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| タカ | タカ | サシバ | <i>Butastur indicus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 山地から低山地に飛来して繁殖するが、個体数は減少。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| タカ | タカ | ノスリ | <i>Buteo buteo</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 山地から平野に飛来して越冬するが、越冬環境が悪化。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| フクロウ | フクロウ | アオバズク | <i>Ninox scutulata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 営巣木の減少など繁殖環境の悪化。 | | 準絶滅危惧 | |
| ブッポウソウ | ブッポウソウ | ブッポウソウ | <i>Eurystomus orientalis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 県内数箇所まで営巣地減少。巣箱設置による保護対策中につき現状維持とする。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧IB類 |
| スズメ | ツバメ | コシアカツバメ | <i>Hirundo daurica</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 営巣地が減少。減少理由は不明。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ヨシキリ | オオヨシキリ | <i>Acrocephalus arundinaceus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 繁殖環境のオギ、ヨシ原などの減少。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ヒタキ | コマドリ | <i>Erithacus akahige</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | ニホンジカによる林床への食害等に伴い、生息環境が悪化。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ヒタキ | コルリ | <i>Luscinia cyane</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | ニホンジカによる林床への食害等に伴い、生息環境が悪化。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| スズメ | ホオジロ | ホオアカ | <i>Emberiza fucata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 四国カルスト牧草地帯で繁殖。冬季は平地で越冬する。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| スズメ | ホオジロ | カシラダカ | <i>Emberiza rustica</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 国内外で個体数が減少傾向。県内も減少。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ホオジロ | オオジュリン | <i>Emberiza schoeniclus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 越冬環境のヨシ原など草地環境の減少。 | | 準絶滅危惧 | |
| キジ | キジ | ヤマドリ (亜種シコクヤマドリ) | <i>Syrnaticus soemmerringii</i> | 準絶滅危惧 | 低山地の山林伐採などで生息環境が悪化し個体数の減少が推測される。 | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(鳥類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|----------|--------------------------------|------------|-----------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| ペリカン | サギ | チュウサギ | <i>Egretta intermedia</i> | 準絶滅危惧 | 繁殖地が減少、個体数も減少傾向。 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| ツル | クイナ | ヒクイナ | <i>Porzana fusca</i> | 準絶滅危惧 | 繁殖地の湿地や水田などの生息環境が悪化。 | | | 準絶滅危惧 |
| カッコウ | カッコウ | ジュウイチ | <i>Cuculus fugax</i> | 準絶滅危惧 | 山間部の限られた分布域で生息を確認。 | | 準絶滅危惧 | |
| カッコウ | カッコウ | カッコウ | <i>Cuculus canorus</i> | 準絶滅危惧 | 山間部の限られた分布域で生息を確認。 | | 準絶滅危惧 | |
| ヨタカ | ヨタカ | ヨタカ | <i>Caprimulgus indicus</i> | 準絶滅危惧 | 一時期急激に個体数が減少。近年確認情報が得られ始めた。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| チドリ | チドリ | タゲリ | <i>Vanellus vanellus</i> | 準絶滅危惧 | 農耕地や河川敷など生息環境が悪化。 | | 準絶滅危惧 | |
| チドリ | チドリ | イカルチドリ | <i>Charadrius placidus</i> | 準絶滅危惧 | 河川敷など生息環境が悪化。 | | | |
| チドリ | チドリ | コチドリ | <i>Charadrius dubius</i> | 準絶滅危惧 | 農耕地や河川敷など生息環境が悪化。 | | | |
| チドリ | チドリ | シロチドリ | <i>Charadrius alexandrinus</i> | 準絶滅危惧 | 海浜や河川敷など生息環境が悪化。 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| チドリ | セイタカシギ | セイタカシギ | <i>Himantopus himantopus</i> | 準絶滅危惧 | 湿地、湿田等の生息環境が減少しているが小群が飛来する。 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| チドリ | シギ | チュウシャクシギ | <i>Numenius phaeopus</i> | 準絶滅危惧 | 河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。 | | 準絶滅危惧 | |
| チドリ | シギ | ツルシギ | <i>Tringa erythropus</i> | 準絶滅危惧 | 河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| チドリ | シギ | アカアシシギ | <i>Tringa totanus</i> | 準絶滅危惧 | 河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |

高知県レッドリスト(鳥類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|-------------------------|---------------------------------|------------|-------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| チドリ | シギ | タカブシギ | <i>Tringa glareola</i> | 準絶滅危惧 | 河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| チドリ | シギ | ハマシギ | <i>Calidris alpina</i> | 準絶滅危惧 | 河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| チドリ | ツバメチドリ | ツバメチドリ | <i>Glareola maldivarum</i> | 準絶滅危惧 | 河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| チドリ | カモメ | アジサン | <i>Sterna hirundo</i> | 準絶滅危惧 | 河口干潟や農耕地に飛来するが、減少傾向にある。 | | 準絶滅危惧 | |
| フクロウ | フクロウ | フクロウ (亜種キュウシュウフクロウ) | <i>Strix uralensis</i> | 準絶滅危惧 | 営巣木の減少など繁殖環境の悪化。 | | 準絶滅危惧 | |
| ブッポウソウ | カワセミ | アカショウビン | <i>Halcyon coromanda</i> | 準絶滅危惧 | 営巣木の減少など繁殖環境の悪化。 | | 準絶滅危惧 | |
| ブッポウソウ | カワセミ | ヤマセミ | <i>Ceryle lugubris</i> | 準絶滅危惧 | 繁殖環境(土崖)の減少。 | | 準絶滅危惧 | |
| キツツキ | キツツキ | オオアカゲラ (亜種ナミエオオアカゲラ) | <i>Dendrocopos leucotos</i> | 準絶滅危惧 | 繁殖環境が標高の高い山林に限られる。 | | 準絶滅危惧 | |
| ハヤブサ | ハヤブサ | チゴハヤブサ | <i>Falco subbuteo</i> | 準絶滅危惧 | 渡りの時期に通過する個体が確認される。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | カササギヒタキ | サンコウチョウ | <i>Terpsiphone atrocaudata</i> | 準絶滅危惧 | 里山で繁殖するが個体数が減少。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ムシクイ | メボソムシクイ | <i>Phylloscopus borealis</i> | 準絶滅危惧 | 繁殖環境が標高の高い山林に限られる。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ムシクイ | エゾムシクイ | <i>Phylloscopus borealoides</i> | 準絶滅危惧 | 繁殖環境が標高の高い山林に限られる。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | キバシリ | キバシリ | <i>Certhia familiaris</i> | 準絶滅危惧 | 山林に少数が生息するが情報量は少ない。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |

高知県レッドリスト(鳥類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-------|--------|-------------------------------|------------|-------------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| スズメ | ヒタキ | トラツグミ | <i>Zoothera dauma</i> | 準絶滅危惧 | 広葉樹林からスギ・ヒノキ植林への変化により生息環境が悪化。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ヒタキ | クロツグミ | <i>Turdus cardis</i> | 準絶滅危惧 | 広葉樹林からスギ・ヒノキ植林への変化により生息環境が悪化。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ヒタキ | ルリビタキ | <i>Tarsiger cyanurus</i> | 準絶滅危惧 | 四国山地は国内の繁殖南限地域。冬は低山地の山林で越冬。 | | 情報不足 | |
| スズメ | ヒタキ | コサメビタキ | <i>Muscicapa dauurica</i> | 準絶滅危惧 | 里山で少数が繁殖するが、情報量は少ない。 | | 情報不足 | |
| スズメ | ヒタキ | オオルリ | <i>Cyanoptila cyanomelana</i> | 準絶滅危惧 | 密猟により個体数が減少したが、近年回復傾向。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | イワヒバリ | カヤクグリ | <i>Prunella rubida</i> | 準絶滅危惧 | 四国山地は国内の繁殖南限地域。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | セキレイ | ビンズイ | <i>Anthus hodgsoni</i> | 準絶滅危惧 | 四国山地は国内の繁殖南限地域。 | | 情報不足 | |
| スズメ | ホオジロ | ノジコ | <i>Emberiza sulphurata</i> | 準絶滅危惧 | 国内で局所的に繁殖し、県内では少数が越冬。 | | 情報不足 | 準絶滅危惧 |
| スズメ | ホオジロ | クロジ | <i>Emberiza variabilis</i> | 準絶滅危惧 | 四国山地は国内の繁殖南限地域。 | | 準絶滅危惧 | |
| カモ | カモ | ミコアイサ | <i>Mergus albellus</i> | 情報不足 | 越冬する個体数が少ない。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| カモ | カモ | ウミアイサ | <i>Mergus serrator</i> | 情報不足 | 越冬する個体数が少ない。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| チドリ | シギ | アオシギ | <i>Gallinago solitaria</i> | 情報不足 | 生息地が局限されている。 | | | |
| タカ | タカ | ツミ | <i>Accipiter gularis</i> | 情報不足 | 過去に繁殖記録があるが、近年繁殖事例がほとんどない。 | | 絶滅危惧IA類 | |

高知県レッドリスト(鳥類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-------|-------------|-------------------------------|------------|---------------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| フクロウ | フクロウ | オオコノハズク | <i>Otus lempiji</i> | 情報不足 | 生息情報が少なく、死体の拾得により確認される。 | | 情報不足 | |
| カモ | カモ | オシドリ | <i>Aix galericulata</i> | 除外 | 増減幅はあるが、毎年1500羽ぐらいが確認されている。 | | 準絶滅危惧 | 情報不足 |
| カモ | カモ | オナガガモ | <i>Anas acuta</i> | 除外 | 増加傾向にあり、近年1000羽ぐらいが確認されている。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| ツル | クイナ | ツルクイナ | <i>Gallinula cinerea</i> | 除外 | 迷鳥として稀に飛来が確認される。 | | 情報不足 | |
| チドリ | カモメ | ハジロクロハラアジサシ | <i>Chlidonias leucopterus</i> | 除外 | 迷鳥として稀に飛来が確認される。 | | 準絶滅危惧 | |
| ブッポウソウ | カワセミ | カワセミ | <i>Alcedo atthis</i> | 除外 | 生息環境への適応性が強く、県内に広く分布している。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | モズ | アカモズ | <i>Lanius cristatus</i> | 除外 | 過去に飛来が確認されているが稀。 | | 情報不足 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| スズメ | カラス | コクマルガラス | <i>Corvus dauuricus</i> | 除外 | 過去に県内で小群が確認されているが、近年はほとんど情報がない。 | | 絶滅危惧ⅠB類 | |
| スズメ | ツリスガラ | ツリスガラ | <i>Remiz pendulinus</i> | 除外 | 過去に県内で小群が確認されているが、近年はほとんど情報がない。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ヒタキ | キビタキ | <i>Ficedula narcissina</i> | 除外 | 生息環境への適応性が強く、分布域が拡大し個体数が増加。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズメ | ヒタキ | ムギマキ | <i>Ficedula mugimaki</i> | 除外 | 渡りの時期に観察されるが個体数は少なく、年変動が大きい。 | | 情報不足 | |
| スズメ | アトリ | コイカル | <i>Eophona migratoria</i> | 除外 | 迷鳥としてイカルに混じって小群が飛来することがある。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| スズメ | アトリ | イカル | <i>Eophona personata</i> | 除外 | 冬鳥として群で広範囲に飛来するが、個体数の年変動が大きい。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |

高知県レッドリスト(鳥類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|-------|------------------------------|------------|--|-----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| スズメ | ホオジロ | アオジ | <i>Emberiza spodocephala</i> | 除外 | 国内の繁殖南限地域の四国山地で繁殖している可能性が高い。低山から平地の越冬個体数は多い。 | 注目種 | 情報不足 | |
| スズメ | ホオジロ | コジュリン | <i>Emberiza yessoensis</i> | 除外 | 近年、生息環境で確認情報がない。 | | 情報不足 | 絶滅危惧Ⅱ類 |

レッドリスト(爬虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|---------|----------------------------------|------------|---|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| カメ | ウミガメ | アカウミガメ | <i>Caretta caretta</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 県内の大半の砂浜の退縮傾向が著しいことなどから主要産卵場の自然回復は見込めないと考えられる。また、沿岸漁業での混獲も問題視されている。 | | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧IB類 |
| カメ | ウミガメ | アオウミガメ | <i>Chelonia mydas</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 本種生育場としての沿岸環境の悪化、漁業での混獲等が問題視されている。 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| カメ | スッポン | ニホンスッポン | <i>Pelodiscus sinensis</i> | 情報不足 | 移入個体か在来個体であるかの科学的研究が不十分であること、実態が不明であることなどの理由から改訂前と同様に情報不足とした。 | | 情報不足 | 情報不足 |
| 有鱗 | ヤモリ | タワヤモリ | <i>Gekko tawaensis</i> | 情報不足 | 県下では須崎以東と内陸部の情報がほとんど無い。情報不足とした後、情報が蓄積されてもおそらく内陸部の分布を欠く準絶滅危惧相当である。 | | | 準絶滅危惧 |
| 有鱗 | ナミヘビ | タカチホヘビ | <i>Achalinus spinalis</i> | 除外 | 確認例は少ないが確認された地域は広範で、本県での生息個体数は多いものと考えられる。 | | 情報不足 | |
| 有鱗 | ナミヘビ | ヒバカリ | <i>Hebius v. vibakari</i> | 除外 | 確認例は少ないが確認された地域は広範で、本県での生息個体数は多いものと考えられる。 | | 準絶滅危惧 | |
| 有鱗 | ナミヘビ | シロマダラ | <i>Dinodon orientale</i> | 除外 | 確認例は少ないが確認された地域は広範で、本県での生息個体数は多いものと考えられる。 | | 情報不足 | |
| 有鱗 | ナミヘビ | ジムグリ | <i>Euprepiophis nspicillatus</i> | 除外 | 確認例は少ないが確認された地域は広範で、本県での生息個体数は多いものと考えられる。 | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(両生類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-----------|---------------|----------------------------------|------------|---|---|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| 無尾 | アカガエル | ニホンアカガエル | <i>Rana japonica</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 既知の繁殖地で見られなくなった。生息環境の悪化、冬場の水場減少などが影響している。 | | 準絶滅危惧 | |
| 有尾 | サンショウウオ | オオイタサンショウウオ | <i>Hynobius dunni</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 改訂前と同様に絶滅危機に瀕している。生息地の保全を実施しないと野生絶滅になる恐れがある。 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 有尾 | サンショウウオ | カスミサンショウウオ | <i>Hynobius nebulosus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 改訂前と同様に絶滅危機に瀕している。 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 有尾 | サンショウウオ | コガタブチサンショウウオ | <i>Hynobius yatsui</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息環境の悪化が懸念される。 | 和名・学名変更 ブチサンショウウオ <i>H. naevius</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| 有尾 | サンショウウオ | シコクハコネサンショウウオ | <i>Onychodactylus kinneburi</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 捕獲圧生息環境の悪化および捕獲圧による絶滅危機が増大している。 | 和名・学名変更 ハコネサンショウウオ <i>O. japonicus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 有尾 | サンショウウオ | イシヅチサンショウウオ | <i>Hynobius Hirosei</i> | 準絶滅危惧 | 四国の個体群が四国固有種となり、捕獲圧も危惧される。 | 和名・学名変更 オオダイガハラサンショウウオ <i>H. ulengeri</i> | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 有尾 | オオサンショウウオ | オオサンショウウオ | <i>Andrias japonicus</i> | 情報不足 | 近年、県下で自然繁殖が確認され、これらが在来個体である可能性が否定できない。科学的裏付けのある判断がなされるまで改訂前と同様、情報不足とした。 | | 情報不足 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 無尾 | アカガエル | トノサマガエル | <i>Pelophylax nigromaculatus</i> | 除外 | 本県では中山間地域の水田環境に普通に生息し、生息個体数はかなり多いものと考えられる。全国では少なく、環境省ランクの準絶滅危惧種である。 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産魚類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|--------------|-------------------------------------|------------|--------------|-----------------------------|-------------------------------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| スズキ | カジカ | ウツセミカジカ(回遊型) | <i>Cottus reinii</i> | 絶滅 | | 和・学名変更 小卵回遊型カジカ | 絶滅 | 絶滅危惧IB類 |
| ヤツメウナギ | ヤツメウナギ | スナヤツメ(南方種) | <i>Lethenteron</i> sp. | 絶滅危惧I類 | 生息地限定 | 仁淀川個体群は県内別水系から移入 初版スナヤツメ | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧II類 |
| コイ | コイ | ヤリタナゴ | <i>Tanakia lanceolata</i> | 絶滅危惧I類 | 生息地と個体数の減少 | | 絶滅危惧IB類 | 準絶滅危惧 |
| スズキ | ハゼ | シロウオ | <i>Leucopsaron petersii</i> | 絶滅危惧I類 | 県西部以外で個体数の激減 | | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧II類 |
| スズキ | ハゼ | イドミズハゼ | <i>Luciogobius pallidus</i> | 絶滅危惧I類 | 生息環境の変化 | | 絶滅危惧IB類 絶滅のおそれのある地域個体群 新荘川個体群 | 準絶滅危惧 |
| コイ | ドジョウ | ヒナイシドジョウ | <i>Cobitis shikokuensis</i> | 絶滅危惧I類 | 生息地と個体数の減少 | 和・学名変更 初版イシドジョウ近似種 | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧IB類 |
| ダツ | メダカ | ミナミメダカ | <i>Oryzias latipes</i> | 絶滅危惧I類 | 生息地の減少 | 初版メダカ | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧II類 |
| コイ | ドジョウ | ドジョウ | <i>Misgurnus anguillicaudatus</i> | 絶滅危惧I類 | 生息地の減少 | | 絶滅危惧II類 | 情報不足 |
| コイ | ドジョウ | オオシマドジョウ | <i>Cobitis</i> sp. BIWAE type A | 絶滅危惧I類 | 生息地が狭く、限定的 | 和名・仮称変更 シマドジョウ4倍体性種 | 絶滅危惧II類 | |
| コイ | ドジョウ | トサシマドジョウ | <i>Cobitis</i> sp. BIWAE type D | 絶滅危惧I類 | 生息地と個体数の減少 | 和名・仮称変更 シマドジョウ2倍体性種 | 絶滅危惧II類 | 絶滅危惧II類 |
| コイ | コイ | モツゴ | <i>Pseudorasbora parva</i> | 絶滅危惧I類 | 生息地の減少 | | 絶滅危惧II類 | |
| サケ | サケ | アマゴ(在来亜種) | <i>Oncorhynchus masou ishikawae</i> | 絶滅危惧I類 | 生息地限定 | | | 準絶滅危惧 |
| スズキ | ハゼ | チワラスボ属C種 | <i>Taenioides</i> sp. C | 絶滅危惧II類 | 絶滅寸前ほどではない。 | 和名・学名変更 チワラスボ | 絶滅危惧IA類 | |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産魚類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-------|------------|--------------------------------|------------|--------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| ウナギ | ウナギ | オオウナギ | <i>Anguilla marmorata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | もともと個体数が少ない。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| スズキ | ハゼ | タビラクチ | <i>Apocryptodon punctatus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 要追跡調査 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| スズキ | ハゼ | トビハゼ | <i>Periophthalmus modestus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 年変動大 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| ニシン | ニシン | ドロクイ | <i>Nematolosa japonica</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 要追跡調査 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧IB類 |
| スズキ | カジカ | カマキリ(アユカケ) | <i>Cottus kajika</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 状況に変化がない。 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| スズキ | ドンコ | ドンコ | <i>Odontobutis obscura</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 県西部以外で個体数激減 | | | |
| トゲウオ | ヨウジウオ | ヨウジウオ | <i>Syngnathus schlegeli</i> | 準絶滅危惧 | 外海性が強い種 | | 絶滅危惧IA類 | |
| スズキ | ハゼ | ヒモハゼ | <i>Eutaeniichthys gilli</i> | 準絶滅危惧 | 広く分布する。 | | 絶滅危惧IB類 | 準絶滅危惧 |
| スズキ | ハゼ | タネハゼ | <i>Callogobius tanegasimae</i> | 準絶滅危惧 | 広く分布する。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| スズキ | ハゼ | アシシロハゼ | <i>Acanthogobius latipes</i> | 準絶滅危惧 | 広く分布する。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| スズキ | ハゼ | チチブ | <i>Tridentiger obscurus</i> | 準絶滅危惧 | 状況に変化がない。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズキ | カワアナゴ | チチブモドキ | <i>Eleotris acanthopoma</i> | 準絶滅危惧 | 状況に変化がない。 | | 準絶滅危惧 | |
| トゲウオ | ヨウジウオ | オクヨウジ | <i>Urocampus nanus</i> | 準絶滅危惧 | 外海性が強い種 | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産魚類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-------|------------|--------------------------------|------------|-------------|--------------|--------------------------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| スズキ | ハゼ | ツマグロスジハゼ | <i>Acentrogobius</i> sp. | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧ほどではない。 | 和名・学名変更 | 情報不足 | |
| スズキ | カワアナゴ | オカメハゼ | <i>Eleotris melanosoma</i> | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧ほどではない。 | | 情報不足 | |
| コイ | コイ | フナ(在来個体群) | <i>Carassius</i> sp. | 準絶滅危惧 | 生息環境の変化 | 分類学的に未整理 | 情報不足 | |
| スズキ | ハゼ | スマチチブ | <i>Tridentiger brevispinis</i> | 準絶滅危惧 | 個体数減少 | | | |
| ウナギ | ウナギ | ニホンウナギ | <i>Anguilla japonica</i> | 準絶滅危惧 | シラスウナギの減少 | | | 絶滅危惧IB類 |
| スズキ | ハゼ | クロコハゼ | <i>Drombus</i> sp. | 情報不足 | 少なくはない。 | 未記載種生息の可能性あり | 準絶滅危惧 | |
| ナマズ | ギギ | ギギ | <i>Tachysurus nudiceps</i> | 情報不足 | 少なくはない | 全域で遺伝子分析が必要 | 絶滅のおそれのある地域個体群 吉野川水系 個体群 | |
| ナマズ | アカザ | アカザ | <i>Liobagrus reini</i> | 情報不足 | 個体数はおそらく多い。 | 要分布域再検討 | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧II類 |
| ナマズ | アカザ | アカザ属の一種 | <i>Liobagrus</i> sp. | 情報不足 | 個体数はおそらく多い。 | 要分布域再検討 | | |
| スズキ | ハゼ | ドウクツミズハゼ | <i>Luciogobius albus</i> | 情報不足 | 記録・詳細不明 | | 情報不足 | 絶滅危惧IA類 |
| スズキ | クロサギ | ダイミョウサギ | <i>Gerres japonicus</i> | 情報不足 | 少数生息の可能性あり。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズキ | クロサギ | セダカダイミョウサギ | <i>Gerres akazakii</i> | 情報不足 | 標本数が少ない。 | | | |
| スズキ | ハゼ | チワラスボB種 | <i>Taenioides</i> sp. B | 情報不足 | 標本数が少ない。 | | | |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産魚類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-------------|-------------|-----------------------------------|--------------------------|---------|------|-----------------------------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| スズキ | ハゼ | クロヨシノボリ | <i>Rhinogobius brunneus</i> | 絶滅のおそれのある地域個体群 灰方川個体群 | 灰方川で減少 | 学名変更 | 絶滅のおそれのある地域個体群 浦ノ内湾流入河川 個体群 | |
| スズキ | アカメ | アカメ | <i>Lates japonicus</i> | 除外 | 広く分布 | 注目種 | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧IB類 |
| トゲウオ | ヨウジウオ | カワヨウジ | <i>Hippichthys spicifer</i> | 除外 | 外海性が強い。 | | 絶滅危惧IB類 | |
| スズキ | ハゼ | クボハゼ | <i>Gymnogobius scrobiculatus</i> | 除外 | 広く分布 | 注目種 | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧IB類 |
| スズキ | ハゼ | ゴマハゼ | <i>Pandaka</i> sp. | 除外 | 広く分布 | | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧II類 |
| スズキ | ハゼ | スミウキゴリ | <i>Gymnogobius petschiliensis</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| スズキ | ハゼ | ボウズハゼ | <i>Sicyopterus japonicus</i> | 除外 | 普通種 | 注目種 | 準絶滅危惧 | |
| スズキ | ハゼ | マサゴハゼ | <i>Pseudogobius masago</i> | 除外 | 少なくはない。 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧II類 |
| スズキ | ハゼ | ビリンゴ | <i>Gymnogobius breunigii</i> | 除外 | 普通種 | 学名変更 | 絶滅のおそれのある地域個体群 浦ノ内湾流入河川 個体群 | |
| スズキ | カワアナゴ | カワアナゴ | <i>Eleotris oxycephala</i> | 除外 | 少なくはない。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズキ | クロユリハゼ | ベニツケサツキハゼ | <i>Parioglossus philippinus</i> | 除外 | 少なくはない。 | | 準絶滅危惧 | |
| スズキ | クロホシマンジュウダイ | クロホシマンジュウダイ | <i>Scatophagus argus</i> | 除外 | 分布域拡大 | | 準絶滅危惧 | |
| フグ | ギマ | ギマ | <i>Triacanthus biaculeatus</i> | 除外 | 分布域拡大 | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産魚類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|---------|-------------------------------------|------------|-------------------------|----|-------------------------------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| ヤツメウナギ | ヤツメウナギ | ミツバヤツメ | <i>Entosphenus tridentatus</i> | 除外 | 無効分散 | | 情報不足 | |
| コイ | コイ | コウライニゴイ | <i>Hemibarbus labeo</i> | 除外 | 琵琶湖型ニゴイの移入により雑種化の可能性あり。 | | 情報不足 | |
| ボラ | ボラ | メナダ | <i>Chelon haematocheilus</i> | 除外 | 無効分散 | | 情報不足 | |
| ボラ | ボラ | ナンヨウボラ | <i>Moolgarda perusii</i> | 除外 | 無効分散 | | 情報不足 | |
| ボラ | ボラ | コボラ | <i>Planiliza macrolepis</i> | 除外 | 無効分散 | | 情報不足 | |
| コイ | コイ | タモロコ | <i>Gnathopogon elongatus</i> | 除外 | 移入種 | | 絶滅のおそれのある地域個体群 四万十川・蛸瀬川 水系個体群 | |
| サケ | サケ | サツキマス | <i>Oncorhynchus masou ishikawae</i> | 除外 | 放流魚の可能性大 | | 絶滅のおそれのある地域個体群 梶原川水系個体群 | 準絶滅危惧 |
| スズキ | ハゼ | カワヨシノボリ | <i>Rhinogobius flumineus</i> | 除外 | 少なくはない。 | | 絶滅のおそれのある地域個体群 桜川水系個体群 | |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産十脚甲殻類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|--------------|-----------------------------------|------------|---------------|---------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| 十脚 | テッポウエビ | マングローブテッポウエビ | <i>Alpheus</i> sp. | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | 情報不足 | |
| 十脚 | カニダマシ | ヤドリカニダマシ | <i>Polyonyx sinensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | (絶滅危惧Ⅱ類) |
| 十脚 | カニダマシ | ウチノミカニダマシ | <i>Polyonyx utinomii</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | (絶滅危惧ⅠB類) |
| 十脚 | ムツアシガニ | ヤドリムツアシガニ | <i>Hexapinus simplex</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | (絶滅危惧ⅠB類) |
| 十脚 | ケブカガニ | ヨコナガオキナガニ | <i>Pseudolithochira integra</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定 | | | |
| 十脚 | ベンケイガニ | フジテガニ | <i>Clistocoeloma villosum</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、個体数の減少 | | | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | ベンケイガニ | クシテガニ | <i>Parasesarma affine</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、個体数の減少 | 2002年版では、オオユビアカベンケイガニと表記。 | 絶滅危惧ⅠB類 | (絶滅危惧Ⅱ類) |
| 十脚 | モクズガニ | シタゴコロガニ | <i>Sestrostoma</i> sp. | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | (絶滅危惧ⅠB類) |
| 十脚 | オサガニ | オサガニ | <i>Macrophthalmus abbreviatus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、個体数の減少 | | 情報不足 | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | テナガエビ | シラタエビ | <i>Exopalaemon orientis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定、高知では希少 | | 準絶滅危惧 | |
| 十脚 | アナジャコ | アナジャコ | <i>Upogebia major</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定、高知では希少 | | | |
| 十脚 | アナジャコ | コブシアナジャコ | <i>Upogebia sakaii</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定、生息地の減少 | | | (絶滅危惧Ⅱ類) |
| 十脚 | モクズガニ | ハマガニ | <i>Chasmagnathus convexus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定、個体数の減少 | | | (準絶滅危惧) |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産十脚甲殻類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-----------|---------------|-----------------------------------|------------|----------------|----|----------------|--------------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| 十脚 | モクズガニ | ヒメアシハラガニ | <i>Helicana japonica</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定 | | 準絶滅危惧 | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | モクズガニ | トゲアシヒライソガニモドキ | <i>Parapyxidognathus deianira</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地の減少、生息条件の悪化 | | 情報不足 | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | ムツハアリアケガニ | ムツハアリアケガニ | <i>Camptandrium sexdentatum</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | 絶滅危惧ⅠA類 | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | ムツハアリアケガニ | アリアケモドキ | <i>Deiratonotus cristatus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | (絶滅危惧Ⅱ類) |
| 十脚 | スナガニ | シオマネキ | <i>Tubuca arcuata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 (絶滅危惧Ⅱ類) |
| 十脚 | スナガニ | ハクセンシオマネキ | <i>Austruca lactea</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 (準絶滅危惧) |
| 十脚 | テッポウエビ | クボミテッポウエビ | <i>Stenolpheops anacanthus</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | テナガエビ | ミナミテナガエビ | <i>Macrobrachium formosense</i> | 準絶滅危惧 | 西部で個体数の減少 | | | |
| 十脚 | テナガエビ | ヒラテナガエビ | <i>Macrobrachium japonicum</i> | 準絶滅危惧 | 西部で個体数の減少 | | | |
| 十脚 | テナガエビ | テナガエビ | <i>Macrobrachium nipponense</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定 | | | |
| 十脚 | ヤドカリ | テナガツノヤドカリ | <i>Diogenes nitidimanus</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定 | | | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | コブシガニ | マメコブシガニ | <i>Pyrhila pisum</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | ベンケイガニ | アカテガニ | <i>Chiromantes haematocheir</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | | (絶滅のおそれのある地域個体群東北) |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産十脚甲殻類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-----------|-------------|------------------------------------|--------------------------|---------------|---|----------------|---------------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| 十脚 | ベンケイガニ | ベンケイガニ | <i>Sesarmops intermedius</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | | (絶滅危惧Ⅱ類) |
| 十脚 | モクズガニ | トリウミアカイソモドキ | <i>Sestrostoma toriumii</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | オカヤドカリ | ムラサキオカヤドカリ | <i>Coenobita purpureus</i> | 絶滅のおそれのある地域個体群 室戸市個体群 | 不法採取による個体数の激減 | 国指定天然記念物であり、2002年版ではナキオカヤドカリとして県のリストに掲載された。 | 情報不足 | |
| 十脚 | テッポウエビ | オトヒメテッポウエビ | <i>Automate dolichognatha</i> | 情報不足 | 生息地限定 | | 情報不足 | |
| 十脚 | スナモグリ | ブビエスナモグリ | <i>Paratrypaea bouvieri</i> | 情報不足 | 生息地限定 | | | (情報不足) |
| 十脚 | イソオウギガニ | セビロオウギガニ | <i>Epixanthus frontalis</i> | 情報不足 | 生息地限定 | | | |
| 十脚 | ベンケイガニ | ウモレベンケイガニ | <i>Clistocoeloma sinense</i> | 情報不足 | 生息地限定 | | | (絶滅危惧ⅠB類) |
| 十脚 | モクズガニ | ヒメアカイソモドキ | <i>Sestrostoma depressum</i> | 情報不足 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | |
| 十脚 | オサガニ | ヤマトオサガニ | <i>Macrophthalmus japonicus</i> | 情報不足 | 生息地限定 | | | (絶滅のおそれのある地域個体群種子島) |
| 十脚 | オサガニ | ヒメメナガオサガニ | <i>Macrophthalmus microfylacas</i> | 情報不足 | 生息地限定 | | | (準絶滅危惧) |
| 十脚 | ムツハアリアケガニ | カワスナガニ | <i>Deiratonotus japonicus</i> | 除外 | 全国的希少種 | 注目種 | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 (準絶滅危惧) |
| 十脚 | テナガエビ | コンジンテナガエビ | <i>Macrobrachium lar</i> | 除外 | 無効分散 | | 情報不足 | |
| 十脚 | ヤワラガニ | トウヨウヤワラガニ | <i>Halicarcinus orientalis</i> | 除外 | 誤同定 | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産十脚甲殻類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|------------|-------------------------------|------------|------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| 十脚 | ベンケイガニ | ヒメベンケイガニ | <i>Nanosesarma vestitum</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |
| 十脚 | イワガニ | ハシリイワガニモドキ | <i>Metopograpsus thukuhar</i> | 除外 | 無効分散 | | 情報不足 | |
| 十脚 | モクズガニ | ヒメイワガニモドキ | <i>Pseudograpsus albus</i> | 除外 | 無効分散 | | 情報不足 | |
| 十脚 | スナガニ | ホンコンスナガニ | <i>Ocypode mortoni</i> | 除外 | 無効分散 | | 情報不足 | |

※環境省ランクに括弧で付記したランクは、日本ベントス学会「干潟の絶滅危惧動物図鑑」(2012)による。

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|-------------|-----------------------------------|------------|---|---|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| トンボ | トンボ | ベッコウトンボ | <i>Libellula angelina</i> | 絶滅 | | | 絶滅 | 絶滅危惧IA類 |
| カメムシ | コオイムシ | タガメ | <i>Lethocerus deyrollei</i> | 絶滅 | 生息地限定、生息環境が特殊 生息情報は得られず、生息地の環境も改変されているため、生息の可能性はないと判断した。 | | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧II類 |
| コウチュウ | ハンミョウ | ルイスハンミョウ | <i>Cicindela lewisi</i> | 絶滅 | | | 絶滅 | 絶滅危惧IB類 |
| コウチュウ | ハンミョウ | カワラハンミョウ | <i>Chaetodera laetescripta</i> | 絶滅 | | 学名の属名修正 (2002年版では <i>Cicindela</i>) | 絶滅 | 絶滅危惧IB類 |
| コウチュウ | オサムシ | アオヘリアオゴミムシ | <i>Chlaenius praefectus</i> | 絶滅 | | | 絶滅 | 絶滅危惧IA類 |
| コウチュウ | ゴミムシダマシ | ヤマトオサムシダマシ | <i>Blaps japonensis</i> | 絶滅 | 生息地限定、生息環境が特殊 生息情報は得られず、生息地の環境も改変されているため、生息の可能性はないと判断した。 | | 情報不足 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | カミキリムシ | アサカミキリ | <i>Thyestilla gebleri</i> | 絶滅 | | | 絶滅 | 絶滅危惧II類 |
| チョウ | セセリチョウ | チャマダラセセリ | <i>Pyrgus maculatus maculatus</i> | 絶滅 | 生息地限定、生息環境が特殊 生息情報は得られず、生息地の環境も改変されているため、生息の可能性はないと判断した。 | | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧IB類 |
| チョウ | シジミチョウ | ルーミスシジミ | <i>Panchala ganesa loomisi</i> | 絶滅 | | | 絶滅 | 絶滅危惧II類 |
| チョウ | シジミチョウ | クロシジミ | <i>Niphanda fusca fusca</i> | 絶滅 | | 学名修正 (2002年版では亜種名が <i>shijimia</i>) | 絶滅 | 絶滅危惧IB類 |
| チョウ | シジミチョウ | シルビアシジミ | <i>Zizina otis emelina</i> | 絶滅 | | 仁淀川河川敷に生息している個体は、 徳島からの放蝶個体群が定着したもの。 | 絶滅 | 絶滅危惧IB類 |
| チョウ | タテハチョウ | オオウラギンヒョウモン | <i>Fabriciana nerippe</i> | 絶滅 | | | 絶滅 | 絶滅危惧IA類 |
| トンボ | イトトンボ | モートンイトトンボ | <i>Mortonagrion selenion</i> | 絶滅危惧I類 | | | 絶滅危惧IB類 | 準絶滅危惧 |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-------|----------------|---|------------|--------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| トンボ | イトトンボ | セスジイトトンボ | <i>Cercion hieroglyphicum</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IB類 | |
| トンボ | イトトンボ | ムスジイトトンボ | <i>Cercion sexlineatum</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IB類 | |
| トンボ | ヤンマ | ルリボンヤンマ | <i>Aeshna juncea</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IA類 | |
| トンボ | トンボ | トラフトンボ | <i>Epithea marginata</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IB類 | |
| バッタ | コオロギ | ハマスズ | <i>Pteronemobius csikii</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IB類 | |
| バッタ | カンタン | コガタカンタン | <i>Oecanthus sp.</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | バッタ | ヤマトバッタ | <i>Aiolopus japonicus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IB類 | |
| バッタ | キリギリス | シマントササキリモドキ | <i>Shikokuconocephalopsis shimantoensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IA類 | |
| バッタ | キリギリス | アシズリフタエササキリモドキ | <i>Tettigoniopsis ashizuriensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IA類 | |
| カメムシ | アメンボ | エサキアメンボ | <i>Gerris (Limnopus) esakii</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IB類 | 準絶滅危惧 |
| カメムシ | セミ | キュウシュウエゾゼミ | <i>Tibicen kyushyuensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IB類 | |
| カメムシ | タイコウチ | ヒメミズカマキリ | <i>Ranatra unicolor</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧IB類 | |
| カメムシ | サシガメ | ゴミアシナガサシガメ | <i>Myiophanes tipulina</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、個体数の減少 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|--------------|------------------------------------|------------|--|---|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| カメムシ | サシガメ | ハリサシガメ | <i>Acanthaspis cincticurs</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、個体数の減少 | | | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | ハンミョウ | ヨドシロヘリハンミョウ | <i>Callytron inspecularis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | 学名の属名変更 (2002年版では <i>Cicindela</i>) | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| コウチュウ | オサムシ | カドタメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus intermedius</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定 かつての生息地は失われたが、近年近くで複数の生存個体が発見された。 | | 絶滅 | 絶滅 |
| コウチュウ | オサムシ | オオトックリゴミムシ | <i>Oodes vicarius</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠB類 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | オサムシ | エチゴトックリゴミムシ | <i>Oodes echigonus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 分類変更 | オオトックリゴミムシと混同 | | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | オサムシ | イトウナガゴミムシ | <i>Pterostichus itoi</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数の減少 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | マルガタゲンゴロウ | <i>Graphoderus adamsii</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | ゲンゴロウ | <i>Cybister japonicus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | トサメクラゲンゴロウ | <i>Morimotoa morimotoi</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | 情報不足 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | オオメクラゲンゴロウ | <i>Morimotoa gigantea</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | 情報不足 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| コウチュウ | コツブゲンゴロウ | カガミムカシゲンゴロウ | <i>Phreatodytes latiusculus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | 絶滅危惧ⅠB類 |
| コウチュウ | コツブゲンゴロウ | トサムカシゲンゴロウ | <i>Phreatodytes sublimbatus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | 情報不足 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| コウチュウ | ミズスマシ | オオミズスマシ | <i>Dineutus orientalis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | 準絶滅危惧 |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|----------------|---------------------------------------|------------|--------|--|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | コガネムシ | オオチャイロハナムグリ | <i>Osmoderma opicum</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | コメツキムシ | ホングウチビクロコメツキ | <i>Ampedus honguanus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数の減少 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | クビナガムシ | キイカクズクビナガムシ | <i>Nematoplus yamato</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数の減少 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | コゲチャヒラタカミキリ | <i>Eurypoda unicolor</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ベーツヒラタカミキリ | <i>Eurypoda batesi</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | アカジマトラカミキリ | <i>Anaglyptus bellus bellus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ケブカトラカミキリ | <i>Hirticytus comosus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | リュウキュウルリボシカミキリ | <i>Glenea chlorospila chlorospila</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | スネケブカヒロコバネカミキリ | <i>Merionoeda hirsuta</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠB類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヨツボンカミキリ | <i>Stenygrinum quadrinotatum</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数の減少 | 学名修正 (2002年版の属名 <i>Stenygrinum</i> は誤記) | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| アミメカゲロウ | ウスバカゲロウ | カスリウスバカゲロウ | <i>Distoleon nigricans</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠB類 | |
| シリアゲムシ | シリアゲムシ | マエヒトスジトゲシリアゲ | <i>Panorpa gokaensis togephora</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠB類 | |
| チョウ | セセリチョウ | ギンイチモンジセセリ | <i>Leptalina unicolor</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | 準絶滅危惧 |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|-------------|---|------------|---------------|---------------------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| チョウ | シジミチョウ | タイワンツバメシジミ | <i>Everes lacturnus kawai</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| チョウ | タテハチョウ | ウラギンスジヒョウモン | <i>Argyronome laodice japonica</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| チョウ | ジャノメチョウ | ウラナミジャノメ | <i>Ypthima motschulskyi niphnica</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| チョウ | セセリモドキガ | ニホンセセリモドキ | <i>Hyblaea fortissima</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | 学名の種小名変更 (2002年版では <i>esakii</i>) | 絶滅危惧ⅠB類 | |
| チョウ | スズメガ | ハウジャク | <i>Macroglossum stellatarum</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | スズメガ | イッポンセスジスズメ | <i>Theretra silhetensis silhetensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| ハチ | アナバチ | キゴシジガバチ | <i>Sceliphron madraspatanum kohli</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | | | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| トンボ | イトトンボ | コフキヒメイトトンボ | <i>Agriocnemis femina oryzae</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| トンボ | イトトンボ | ベニイトトンボ | <i>Ceriagrion nipponicum</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| トンボ | サナエトンボ | フタスジサナエ | <i>Trigomphus interruptus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| トンボ | トンボ | ハッチョウトンボ | <i>Nannophya pygmaea</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定、生息環境が特殊 | 過去の生息地は絶滅。保護策必要 | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| トンボ | ヤンマ | ネアカヨシヤンマ | <i>Aeschnophlebia anisoptera</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| トンボ | ヤンマ | コシボソヤンマ | <i>Boyeria maclachlani</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|---------------|-----------------------------------|------------|-------------------|-------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| カメムシ | セミ | チッチゼミ | <i>Cicadetta radiator</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | ヒゲブトオサムシ | クロオビヒゲブトオサムシ | <i>Ceratoderus venustus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | ハンミョウ | シロヘリハンミョウ | <i>Callytron yuasai yuasai</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | 亜種名追加 | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | ハンミョウ | ミヤマハンミョウ | <i>Cicindela sachalinensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | オサムシ | セアカオサムシ | <i>Hemicarabus tuberculatus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | オサムシ | イトウメクラチビゴミムシ | <i>Trechiana itoi</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | オサムシ | ケバネメクラチビゴミムシ | <i>Chaetotrechiana procerus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| コウチュウ | オサムシ | アシナガメクラチビゴミムシ | <i>Nipponaphaenops erraticus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒメツヤメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus humeralis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | オサムシ | ツヤメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus nipponicus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | トサナガゴミムシ | <i>Pterostichus tosanus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | チャイロマメゲンゴロウ | <i>Agabus browni</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | クロゲンゴロウ | <i>Cybister brevis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地限定だが個体数は少なくない。 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 準絶滅危惧 |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|----------------|---|------------|--------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | ガムシ | コガタガムシ | <i>Hydrophilus bilineatus cashimirensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 情報不足 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| コウチュウ | ガムシ | コガムシ | <i>Hydrochara affinis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 情報不足 | 情報不足 |
| コウチュウ | タマムシ | クロマダラタマムシ | <i>Nipponobuprestis querceti</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | タマムシ | アオタマムシ | <i>Eurythrea tenuistriata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | コメツキムシ | ミゾムネチビサビキコリ | <i>Adelocera brunneus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | ヒラタムシ | ルリヒラタムシ | <i>Cucujus mniszechi</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | テントウムシ | ジュウクホシテントウ | <i>Anisosticta kobensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | アカハネムシ | オカモトツヤアナハネムシ | <i>Tosadendroides okamotoi</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヒラヤマコブハナカミキリ | <i>Enoploderes bicolor</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | フタスジカタビロハナカミキリ | <i>Brachyta bibasciata japonica</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ニセハイイロハナカミキリ | <i>Rhagium femorale</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヒゲブトハナカミキリ | <i>Pachypidonia bodemeyeri</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | クロソンホソハナカミキリ | <i>Mimostrangalia kurosonensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|-----------------|-------------------------------------|------------|--------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | カミキリムシ | タケウチホソハナカミキリ | <i>Strangalia takeuchii</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | モモグロハナカミキリ | <i>Toxotinus reini</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ベニバハナカミキリ | <i>Paranaspia anaspidoides</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | トガリバホソコバネカミキリ | <i>Necydalis formosana niimurai</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | オオホソコバネカミキリ | <i>Necydalis solida</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヒゲジロホソコバネカミキリ | <i>Necydalis odai</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ホソツヤヒゲナゴコバネカミキリ | <i>Glaphyra nitida nitida</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | イッシキキモンカミキリ | <i>Glenea centroguttata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | カッコウメダカカミキリ | <i>Stenhomalus cleroides</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | オオアオカミキリ | <i>Chloridolum thaliodes</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ムネマダラトラカミキリ | <i>Xylotrechus grayii</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | トラフカミキリ | <i>Xylotrechus chinensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | マダラゴマフカミキリ | <i>Mesosa poecila</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数の減少 | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|-------------|---|------------|----|---|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| アミメカゲロウ | カマキリモドキ | オオカマキリモドキ | <i>Climaciella magna</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| アミメカゲロウ | ウスバカゲロウ | コカスリウスバカゲロウ | <i>Distoleon contubernalis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チョウ | シジミチョウ | オナガシジミ | <i>Araragi enthea</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チョウ | シジミチョウ | ヒサマツミドリシジミ | <i>Chrysozephyrus hisamatsusanus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チョウ | シジミチョウ | キリシマミドリシジミ | <i>Thermozephyrus ataxus kirishimaensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | 属名変更 (2002年版では <i>Chrysozephyrus</i>) | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チョウ | シジミチョウ | エゾミドリシジミ | <i>Favonius jezoensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チョウ | シジミチョウ | ベニモンカラスシジミ | <i>Strymonidia iyonis iyonis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| チョウ | シジミチョウ | ミヤマカラスシジミ | <i>Strymonidia mera</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チョウ | タテハチョウ | シータテハ | <i>Polygonia c-album hamigera</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チョウ | ジャノメチョウ | キマダラモドキ | <i>Kirinia epaminodas</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| チョウ | ジャノメチョウ | クロヒカゲモドキ | <i>Lethe marginalis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| チョウ | シャクガ | シロシモフリエダシャク | <i>Biston exoticus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| チョウ | シャクガ | タケウチエダシャク | <i>Biston takeuchii</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|----------|-------------------------------------|------------|----|------------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| ハチ | アナバチ | アカオビケラトリ | <i>Larra amplipennis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | 和名修正 (2002年版ではアカオビケラトリバチ) | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| ハチ | ハキリバチ | クズハキリバチ | <i>Megachile pseudomonticola</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 情報不足 |
| ハチ | ハキリバチ | ネジロハキリバチ | <i>Chalicodoma disjunctiformis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| トンボ | イトトンボ | アジアイトトンボ | <i>Ischnura asiatica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | イトトンボ | オオイトトンボ | <i>Cercion sieboldii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | モノサシトンボ | グンバイトンボ | <i>Platycnemis foliacea sasakii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| トンボ | モノサシトンボ | モノサシトンボ | <i>Copera annulata</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | アオイトトンボ | アオイトトンボ | <i>Lestes sponsa</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | ムカシトンボ | ムカシトンボ | <i>Epiophlebia superstes</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | サナエトンボ | ミヤマサナエ | <i>Anisogomphus maacki</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | サナエトンボ | キイロサナエ | <i>Asiagomphus pryeri</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| トンボ | サナエトンボ | タバサナエ | <i>Trigomphus citimus tabei</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| トンボ | サナエトンボ | オジロサナエ | <i>Stylogomphus suzukii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|------------|--|------------|-------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| トンボ | サナエトンボ | ヒメクロサナエ | <i>Lanthus fujiacus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | サナエトンボ | ヒメサナエ | <i>Sinogomphus flavolimbatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | サナエトンボ | アオサナエ | <i>Nihogomphus viridis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | ヤンマ | カトリヤンマ | <i>Gynacantha japonica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | ヤンマ | マルタンヤンマ | <i>Anaciaeschna martini</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | オニヤンマ | ミナミヤンマ | <i>Chlorogomphus brunneus costalis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | エゾトンボ | ハネビロエゾトンボ | <i>Somatochlora clavata</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧II類 |
| トンボ | トンボ | マイコアカネ | <i>Sympetrum kunkeli</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | トンボ | キトンボ | <i>Sympetrum croceolum</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| カワゲラ | カワゲラ | ヒメオオヤマカワゲラ | <i>Oyamia seminigra</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| カワゲラ | カワゲラ | モンカワゲラ | <i>Calineuria stigmatica</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定 | | | |
| バッタ | コオロギ | カワラスズ | <i>Pteronemobius furumagiensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | コオロギ | カマドコオロギ | <i>Grylodes sigillatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|-------------|--|------------|----|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| バッタ | コオロギ | クチナガコオロギ | <i>Velarifictorus aspersus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | バッタ | カワラバッタ | <i>Eusphingonotus japonicus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | バッタ | イナゴモドキ | <i>Parapleurus alliaceus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | キリギリス | クツワムシ | <i>Mecopoda nipponensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | キリギリス | カヤキリ | <i>Pseudorhynchus japonicus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | キリギリス | エゾツユムシ | <i>Ducetia chinensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | キリギリス | テングササキリモドキ | <i>Tettigoniopsis ryomai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | キリギリス | オニササキリモドキ | <i>Sikokuconocephalopsis onigajyoensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | キリギリス | イシツチササキリモドキ | <i>Sikokuconocephalopsis isizuchiensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | キリギリス | ウワササキリモドキ | <i>Tettigoniopsis uwa</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| ゴキブリ | ゴキブリ | ウルシゴキブリ | <i>Periplaneta japanna</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| ゴキブリ | チビゴキブリ | クロテンチビゴキブリ | <i>Anaplecta japonica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| ゴキブリ | チャバネゴキブリ | ヒメチャバネゴキブリ | <i>Blattella lituricollis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|------------|----------------------------------|------------|--------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| カメムシ | キンカメムシ | ニシキキンカメムシ | <i>Poecilocoris splendidulus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| カメムシ | カメムシ | タマカメムシ | <i>Sepontiella aenea</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| カメムシ | サシガメ | オオカモドキサシガメ | <i>Empicoris brachystigma</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 情報不足 |
| カメムシ | サシガメ | キイロサシガメ | <i>Sirthena flavipes</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | | |
| カメムシ | コオイムシ | コオイムシ | <i>Diplonychus japonicus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| カメムシ | タイコウチ | タイコウチ | <i>Laccotrephes japonensis</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | | |
| カメムシ | イトアメンボ | イトアメンボ | <i>Hydrometra albolineata</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | | 絶滅危惧II類 |
| カメムシ | イトアメンボ | ヒメイトアメンボ | <i>Hydrometra procera</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | | |
| カメムシ | ナベブタムシ | ナベブタムシ | <i>Aphelocheirus vittatus</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | | |
| カメムシ | セミ | コエゾゼミ | <i>Tibicen bihamatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| カメムシ | セミ | エゾゼミ | <i>Tibicen japonicus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| カメムシ | セミ | エゾハルゼミ | <i>Terpnosia nigricosta</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| カメムシ | セミ | ハルゼミ | <i>Terpnosia vacua</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|---------------|--------------------------------------|------------|--------------------|---|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| カメムシ | ヒシウンカ | ネグロカワウンカ | <i>Andes melanobasis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| カメムシ | ヒシウンカ | ヤナギカワウンカモドキ | <i>Andes marmoratiformis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| カメムシ | グンバイウンカ | オヌキグンバイウンカ | <i>Mesepora onukii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | ハンミョウ | コハンミョウ | <i>Miriochila specularis</i> | 準絶滅危惧 | | 学名の属名変更 (2002年版では <i>Cicindela</i>) | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | ハンミョウ | アイヌハンミョウ | <i>Cicindela gemmata aino</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定だが、個体数は少なくない。 | 四万十川および仁淀川流域に広く分布 | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | オサムシ | イシヅチオサムシ | <i>Carabus tosanus ishizuchianus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | マルクビゴミムシ | <i>Nebria chinensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒョウタンゴミムシ | <i>Scarites aterrimus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | フトキノカワゴミムシ | <i>Leistus crassus</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ムロトメクラチビゴミムシ | <i>Trechiana sonei</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ケンザンメクラチビゴミムシ | <i>Trechiana chikaichii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | キノヅメクラチビゴミムシ | <i>Trechiana perissus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ノネメクラチビゴミムシ | <i>Trechiana nonensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|-----------------|--------------------------------------|------------|----|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | カミゼキメクラチビゴミムシ | <i>Trechiana cornutus longior</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | クルマバメクラチビゴミムシ | <i>Yamautidius hirakei</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | アリノキメクラチビゴミムシ | <i>Yamautidius uozumii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | フルミヤメクラチビゴミムシ | <i>Yamautidius squamosus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ジャノアナメクラチビゴミムシ | <i>Yamautidius spinulosus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | オオドウメクラチビゴミムシ | <i>Yamautidius ishikawaorum</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ナガサワメクラチビゴミムシ | <i>Yamautidius tetsuoi</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヨコクラメクラチビゴミムシ | <i>Yamautidius eos</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | リュウガドウメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous atorus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | リュウジンメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous solidior solidior</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ガニゴエメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous elongatulus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | タイショウメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous pravus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | トリノスメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous solidior insperatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|-----------------|------------------------------------|------------|----|--|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒラタメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous uozumii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | イシカワメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous ishikawai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ミズイデメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous mimus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | カジモトメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous kajimotoi</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ワカミヤメクラチビゴミムシ | <i>Ryugadous ciliatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ササメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus squamosus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヤマモトメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus ishikawai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ウオズミメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus uozumii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | リョウゾウメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus riozoi</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ハズマメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus yoshiianus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | イラズメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus cerberus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ハヤシメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus hayashii</i> | 準絶滅危惧 | | 学名の種小名修正 (2002年版では <i>murakamii</i>) | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | メイドウモンメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus professoris</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|-----------------|--------------------------------|------------|-----------------|-----------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | アナドリメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus masazii</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | 学名確定 (2002年版ではsp.) | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | フタボンチビゴミムシ | <i>Lasiotrechus discus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒサゴチビゴミムシ | <i>Iga formicina</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ウミミズギワゴミムシ | <i>Sakagutia marina</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | オサムシ | コホソトビミズギワゴミムシ | <i>Bembidion aeneipes</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | トサヌレチゴミムシ | <i>Apatrobus cornifer</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヨツボンツヤナゴミムシ | <i>Abacetus tanakai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | テングナガゴミムシ | <i>Pterostichus carsticus</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定だが個体数は少ない。 | | 絶滅危惧II類 | |
| コウチュウ | オサムシ | シコクヒラタナガゴミムシ | <i>Pterostichus miyamai</i> | 準絶滅危惧 | | タイプ種 | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒメセボシヒラタゴミムシ | <i>Agonum suavissimum</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | クロソンモリヒラタゴミムシ | <i>Colpodes kurosonensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ケンザンミヤママルガタゴミムシ | <i>Amara kenzanensis</i> | 準絶滅危惧 | | 種の見直しにより別種になる可能性がある。 | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒトツメアオゴミムシ | <i>Chlanius deliciolus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|----------------|--------------------------------------|------------|--------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | クロヒゲアオゴミムシ | <i>Chlaenius ocreatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | アオヘリホソゴミムシ | <i>Drypta japonica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | チャバネクビナゴミムシ | <i>Odacantha aegrota</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オサムシ | トックリゴミムシ | <i>Lachnocrepis prolixa</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定だが、個体数は少なくない。 | | 絶滅危惧II類 | |
| コウチュウ | オサムシ | オオヨツボシゴミムシ | <i>Dischissus mirandus</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少、生息条件の悪化 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | クロケブカゴミムシ | <i>Peronomerus nigrinus</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少、生息条件の悪化 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | イグチケブカゴミムシ | <i>Peronomerus auripilis</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少、生息条件の悪化 | | 情報不足 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | コツブゲンゴロウ | ムツボシツヤコツブゲンゴロウ | <i>Canthydrus politus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧II類 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | オオマルケシゲンゴロウ | <i>Hydrovatus bonvouloiri</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | キボシツブゲンゴロウ | <i>Japanolaccophilus nipponensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | ルイスツブゲンゴロウ | <i>Laccophilus lewisius</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧II類 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | コウベツブゲンゴロウ | <i>Laccophilus kobensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | ウスイロシマゲンゴロウ | <i>Hydaticus rhantoides</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|-------------|--|------------|-------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | コガタノゲンゴロウ | <i>Cybister tripunctatus orientalis</i> | 準絶滅危惧 | 個体数増加、分布域増加 | | 絶滅危惧IA類 | 絶滅危惧II類 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | チャイロチビゲンゴロウ | <i>Liodessus megacephalus</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | マメクワガタ | <i>Figulus punctatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | ヒメオオクワガタ | <i>Nipponodorcus montivagus montivagus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | ネプトクワガタ | <i>Aegus laevicollis laevicollis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | クロツヤムシ | ツノクロツヤムシ | <i>Cylindrocaulus patalis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | アツバコガネ | フチトリアツバコガネ | <i>Phaeochrous emarginatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コガネムシ | ヒゲコガネ | <i>Polyphylla laticollis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コガネムシ | イシハラカンショコガネ | <i>Apogonia ishiharai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コガネムシ | ヨツバコガネ | <i>Ohkubous ferrieri</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コガネムシ | キンスジコガネ | <i>Mimela holosericea</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コガネムシ | シラホシハナムグリ | <i>Protaetia brevitarsis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コガネムシ | ムラサキツヤハナムグリ | <i>Protaetia cataphracta</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|-----------------|---|------------|-------------|--------------------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | コガネムシ | キョウトアオハナムグリ | <i>Protaetia lenzi</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コガネムシ | クロカナブン | <i>Rhomborrhina polita</i> | 準絶滅危惧 | 個体数増加、分布域増加 | | 絶滅危惧IB類 | |
| コウチュウ | タマムシ | アオマダラタマムシ | <i>Nipponobuprestis amabilis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | タマムシ | アヤムネスジタマムシ | <i>Chrysodema lewisii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コメツキムシ | トサヒメサビキコリ | <i>Agrypnus miyamotoi tosa</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コメツキムシ | ニホンムネスジダングラコメツキ | <i>Harminius nihonicus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コメツキムシ | チビマメコメツキ | <i>Quasimus chibi</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コメツキムシ | アカアシコハナコメツキ | <i>Paracardiophorus sequens sequens</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | オオキノコムシ | オオキノコムシ | <i>Encaustes praenobilis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | ツチハンミョウ | トサヒラズゲンセイ | <i>Cissites cephalotes</i> | 準絶滅危惧 | | 和名変更 (2002年版ではヒラズゲンセイ) | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリモドキ | キベリフトカミキリモドキ | <i>Asessinia flavomarginata</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | 学名修正 (2002年版では <i>Alloxaxis</i>) | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | オオクボカミキリ | <i>Tengius ohokuboi</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | トゲウスバカミキリ | <i>Megopis formosana nipponica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|-----------------|---|------------|--------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | カミキリムシ | フタコブルリハナカミキリ | <i>Stenocorus caeruleipennis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | アカイロニセハムシハナカミキリ | <i>Lemula nishimurai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヒメヨツスジハナカミキリ | <i>Leptura kusamai</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | シコクヒメコブハナカミキリ | <i>Pseudosieversia shikokensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ブロイニングヒメハナカミキリ | <i>Pidonia limbaticollis stephani</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | マホロバヒメハナカミキリ | <i>Pidonia leucanthophila</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | イガブチヒゲハナカミキリ | <i>Stictoleptura igai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ベーツヤサカミキリ | <i>Leptoxenus ibidiiformis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ナカネアメイロカミキリ | <i>Obrium nakanei</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | トワダムモンメダカカミキリ | <i>Stenhomalus lighti</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ニッポンモモブトコバネカミキリ | <i>Merionoeda formosana septentrionalis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | アオカミキリ | <i>Schwarzerium quadricollis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | キュウシュウチビトラカミキリ | <i>Perissus kiusiuensis kiusiuensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|----------------|---|------------|----|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | カミキリムシ | アカネトラカミキリ | <i>Brachyelytus singularis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ケナガカミキリ | <i>Artimpaza setigera japonica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | タキグチモモフトホソカミキリ | <i>Cleomenes takiguchii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | カノコサビカミキリ | <i>Apomecyna naevia</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | アヤモンチビカミキリ | <i>Sybra ordinata ordinata</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | キボシチビカミキリ | <i>Sybra flavomaculata</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | タテジマカミキリ | <i>Aulaconotus pachypezoides</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ツチイロフトヒゲカミキリ | <i>Dolophrades terrenus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | セダカコブヤハズカミキリ | <i>Parechthistatus gibber pseudogrossus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヨコヤマヒゲナガカミキリ | <i>Dolichoprosopus yokoyamai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ナカバヤシモモフトカミキリ | <i>Leiopus guttatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | クロオビトゲムネカミキリ | <i>Sciades fasciatus fasciatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ミヤマモモフトカミキリ | <i>Leiopus montanus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|-------------|--|------------|---------------|-----------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ルリカミキリ | <i>Bacchisa (Bacchisa) fortunei japonica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | シナカミキリ | <i>Eutetrappa sedecimpunctata</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ホソツツリンゴカミキリ | <i>Oberea nigriventris</i> | 準絶滅危惧 | | 増加傾向 今後注目 | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | ハムシ | ハッカハムシ | <i>Chrysolina exanthematica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | ヒメドロムシ | ヨコミゾドロムシ | <i>Leptelmis gracilis Sharp</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| コウチュウ | ホタル | ヘイケボタル | <i>Luciola lateralis</i> | 準絶滅危惧 | 生息地の減少、個体数の減少 | | | |
| コウチュウ | ヒゲナガゾウムシ | エゴヒゲナガゾウムシ | <i>Exechesops leucopis</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | 情報不足 | |
| アミメカゲロウ | ヒロバカゲロウ | オガタヒロバカゲロウ | <i>Lysmus ogatai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| アミメカゲロウ | ヒロバカゲロウ | ブライヤヒロバカゲロウ | <i>Osmylus pryeri</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| アミメカゲロウ | クサカゲロウ | キントキクサカゲロウ | <i>Brinckochrysa kintoki</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| アミメカゲロウ | クシヒゲカゲロウ | クシヒゲカゲロウ | <i>Dilar japonicus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| アミメカゲロウ | ケカゲロウ | ケカゲロウ | <i>Acroberotha okamotonis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| アミメカゲロウ | クサカゲロウ | ムモンクサカゲロウ | <i>Chrysotropia ciliata</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-----------|---------------|----------------------------------|------------|----------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| シリアゲムシ | シリアゲムシ | シコクミスジシリアゲ | <i>Panorpa globulifera</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 情報不足 |
| シリアゲムシ | ガガンボモドキ | イッシキガガンボモドキ | <i>Bittacus issikii</i> | 準絶滅危惧 | 生息地の減少、生息条件の悪化 | | 情報不足 | |
| シリアゲムシ | ガガンボモドキ | クロヒメガガンボモドキ | <i>Bittacus takaoensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| シリアゲムシ | ガガンボモドキ | ツマグロヒメガガンボモドキ | <i>Bittacus marginatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| ハエ | カ | トワダオオカ | <i>Toxorhynchites towadensis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| ハエ | ムシヒキアブ | オオイシアブ | <i>Laphria mitsukurii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トビケラ | ナガレトビケラ | オオナガレトビケラ | <i>Hymalopsyche japonica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| トビケラ | ホソバトビケラ | ホソバトビケラ | <i>Molanna moesta</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トビケラ | フトヒゲトビケラ | ヨツメトビケラ | <i>Perissoneura chrysea</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トビケラ | カタツムリトビケラ | カタツムリトビケラ | <i>Helicopsyche yamadai</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| トビケラ | トビケラ | ツマグロトビケラ | <i>Phryganea japonica</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定、個体数の減少 | | | |
| トビケラ | トビケラ | ホタルトビケラ | <i>Nothopsyche ruficollis</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | | |
| トビケラ | ヒゲナガトビケラ | ウスリークサツミトビケラ | <i>Oecetis antennata</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|---------------|---|------------|-------------|----------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| トビケラ | ヒゲナガトビケラ | ギンボシツツトビケラ | <i>Setodes argentatus</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定 | | | 準絶滅危惧 |
| チョウ | セセリチョウ | ヘリグロチャバネセセリ | <i>Thymelicus sylvaticus</i> | 準絶滅危惧 | 生息地限定 | | 情報不足 | |
| チョウ | セセリチョウ | オオチャバネセセリ | <i>Polytremis pellucida</i> | 準絶滅危惧 | 個体数増加、分布域増加 | | 絶滅危惧IA類 | |
| チョウ | シジミチョウ | ウラキンシジミ | <i>Ussuriana stygiana</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シジミチョウ | ウラクロシジミ | <i>Iratsume orsedice orsedice</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シジミチョウ | ミドリシジミ | <i>Neozephyrus taxila japonicus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シジミチョウ | メスアカミドリシジミ | <i>Chrysozephyrus smaragdinus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シジミチョウ | アイノミドリシジミ | <i>Chrysozephyrus brilliantinus brilliantinus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シジミチョウ | フジミドリシジミ | <i>Sibatanoizephyrus fujisanus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シジミチョウ | クロツバメシジミ | <i>Tongeia fischeri shojii</i> | 準絶滅危惧 | 新たな生息地追加 | 学名に亜種名追加 | 情報不足 | 準絶滅危惧 |
| チョウ | タテハチョウ | クモガタヒョウモン | <i>Nephargynnis anadyomene midas</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | タテハチョウ | オオウラギンスジヒョウモン | <i>Argyronome ruslana</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | タテハチョウ | オオムラサキ | <i>Sasakia charonda charonda</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|--------------|---------------------------------------|------------|----|---|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| チョウ | ジャノメチョウ | ナミジャノメ | <i>Minois dryas bipunctatus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | ジャノメチョウ | ツマジロウラジャノメ | <i>Lasiommata deidamia interrupta</i> | 準絶滅危惧 | | 学名修正 (2002年版では亜種名 <i>interrupta</i> を種小名に誤記) | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シャクガ | フチグロトゲエダシャク | <i>Nyssiodes lefuarius</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シャクガ | キイロトゲエダシャク | <i>Apochima praeacutaria</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | アゲハモドキガ | フジキオビ | <i>Schistomitra funeralis</i> | 準絶滅危惧 | | 科名変更 (2002年版ではフタオガ科) | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | ヤママユガ | クロウスタビガ | <i>Rhodinia jankowskii</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | スズメガ | リュウキュウオオスカシバ | <i>Cephonodes xanthus</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シャチホコガ | ハネブサシャチホコ | <i>Platychasma virgo</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | ドクガ | コシロオビドクガ | <i>Numenes disparilis</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | ヤガ | ホソバミツモンケンモン | <i>Cymatophoropsis unca</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | ヤガ | コゴマヨトウ | <i>Chandata bella</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | ヤガ | ムラサキシタバ | <i>Catocala fraxini</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | ヤガ | オニベニシタバ | <i>Catocala dula</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|------------|---|------------|--------|------------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| チョウ | ヤガ | シロシタバ | <i>Catocala nivea</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | ヤガ | ナマリキシタバ | <i>Catocala columbina</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | トラガ | マイコトラガ | <i>Maikona jezoensis</i> | 準絶滅危惧 | 個体数の減少 | | 情報不足 | |
| ハチ | スズメバチ | モンズズメバチ | <i>Vespa crabro flavofasciata</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 情報不足 |
| ハチ | ベッコウバチ | ツマアカクモバチ | <i>Tachypompilus analis</i> | 準絶滅危惧 | | 和名変更 (2002年版ではツマアカコブベッコウ) | 準絶滅危惧 | |
| ハチ | ベッコウバチ | フタモンクモバチ | <i>Parabatozonus jankowskii</i> | 準絶滅危惧 | | 和名変更 (2002年版ではフタモンベッコウ) | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| ハチ | アナバチ | ニッポンハナダカバチ | <i>Bembix niponica</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧II類 |
| ハチ | ハキリバチ | キバラハキリバチ | <i>Megachile xanthothrix</i> | 準絶滅危惧 | | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| トンボ | アオイトトンボ | オツネトンボ | <i>Sympecma paedisca paedisca</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| トンボ | エゾトンボ | オオエゾトンボ | <i>Somatochlora viridiaeneaa atrovirens</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| トンボ | トンボ | タイリクアカネ | <i>Sympetrum striolatum imitoides</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| バッタ | コオロギ | ハネナシコオロギ | <i>Goniogryllus sexspinosus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| バッタ | コロギス | コバネコロギス | <i>Neanias magnus</i> | 情報不足 | 生息地限定 | | | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|-------------|--|------------|-------------|--------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| バッタ | キリギリス | ヤマクダマキモドキ | <i>Holochlora longifissa</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| バッタ | キリギリス | タイワンクダマキモドキ | <i>Sympaestria truncatolobata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| バッタ | カマドウマ | クチキウマ属全種 | <i>Anolophilus</i> spp. | 情報不足 | | 分類が不十分 | 情報不足 | |
| ナナフシ | ナナフシ | タイワントビナナフシ | <i>Sipyloidea sipylus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ガロアムシ | ガロアムシ | ガロアムシ属全種 | <i>Galloisiana</i> spp. | 情報不足 | | 分類が不十分 | 情報不足 | |
| ゴキブリ | チャバネゴキブリ | サツマツチゴキブリ | <i>Theganosilpha satsumana</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| カマキリ | カマキリ | ウスバカマキリ | <i>Mantis religiosa</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | 情報不足 |
| カメムシ | ミズムシ | ミズムシ | <i>Hesperocorixa distanti distanti</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| カメムシ | ミズムシ | ナガミズムシ | <i>Hesperocorixa mandshurica</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| カメムシ | カメムシ | イシハラカメムシ | <i>Brachynema ishiharai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| カメムシ | カメムシ | シコククチブトカメムシ | <i>Eocanthecona shikokuensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| カメムシ | マキバサシガメ | ホソマキバサシガメ | <i>Arbela tabida</i> | 情報不足 | 生息地限定、個体数減少 | | | |
| カメムシ | カスミカメムシ | ヒメケブカカスミカメ | <i>Tingitotum befui</i> | 情報不足 | 生息地限定、個体数減少 | タイプ種 | | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|---------------|---|------------|-------------|-----------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| カメムシ | カスミカメムシ | コケカスミカメ | <i>Bryophilocapsus tosamontanus</i> | 情報不足 | 生息地限定、個体数減少 | | | |
| カメムシ | ツチカメムシ | シロヘリツチカメムシ | <i>Canthophorus niveimarginatus</i> | 情報不足 | 生息地限定、個体数減少 | | | 準絶滅危惧 |
| カメムシ | ツノカメムシ | トゲツノカメムシ | <i>Lindbergicoris gramineus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| カメムシ | グンバイムシ | ツルギマルグンバイ | <i>Acalypta tsurugisana</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| カメムシ | セミ | アカエゾゼミ | <i>Tibicen flammatus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| カメムシ | アリヅカウソウ | シコクアリヅカウソウ | <i>Tettigometra shikokuana</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | セスジムシ | ヤマトセスジムシ | <i>Omoglymmius lewisi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | セスジムシ | チャイロヒラタセスジムシ | <i>Clinidium veneficum</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ハンミョウ | ホソハンミョウ | <i>Cicindela gracilis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | 絶滅危惧II類 |
| コウチュウ | オサムシ | ムラサキスジアシゴミムシ | <i>Eobrosicus lutshniki</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | テングメクラチビゴミムシ | <i>Ishikawatrechus longipes</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | スクモメクラチビゴミムシ | <i>Yamautidius sucmo</i> | 情報不足 | 生息地限定 | 2006年新種記載 | | |
| コウチュウ | オサムシ | クロソンメクラチビゴミムシ | <i>Yamautidius croson</i> | 情報不足 | 生息地限定 | 2006年新種記載 | | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|-------------------|--|------------|-------|-------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | アオミズギワゴミムシ | <i>Bembidion chloreum</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | シコクアオマルガタミズギワゴミムシ | <i>Ocydromus shikokuensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | イシヅチヌレチゴミムシ | <i>Apatrobus ishizuchiensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | イシハラヌレチゴミムシ | <i>Apatrobus ishiharai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ムラサキオオゴミムシ | <i>Trigonognatha coreana</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | フタモンマルクビゴミムシ | <i>Nebria pulcherrima</i> | 情報不足 | 生息地限定 | 安芸郡で古い記録あり。 | | 絶滅危惧IB類 |
| コウチュウ | オサムシ | キンナガゴミムシ | <i>Pterostichus planicollis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | モモブトナガゴミムシ | <i>Pterostichus colonus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | コホソナガゴミムシ | <i>Pterostichus longinquus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | トックリナガゴミムシ | <i>Pterostichus haptoderoides japonensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒメホソナガゴミムシ | <i>Pterostichus rotundangulus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒコサンナガゴミムシ四国亜種 | <i>Pterostichus hikosanus kurosonis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | イシハラヒメナガゴミムシ | <i>Pterostichus ishiharai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|---------------------|------------------------------------|------------|-------|-----------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒサマツナガゴミムシ | <i>Pterostichus hisamatsui</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ツルギヤマナガゴミムシ | <i>Pterostichus tsurugiyamanus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | サトウナガゴミムシ | <i>Pterostichus satoi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | カワノナガゴミムシ | <i>Pterostichus kawanoi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | イシヅチナガゴミムシ | <i>Pterostichus ishizuchiensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | チュウジョウナガゴミムシ | <i>Pterostichus chujoi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | カジガモリオオズナガゴミムシ (仮称) | <i>Pterostichus subabacipennis</i> | 情報不足 | 生息地限定 | 2012年新種記載 | | |
| コウチュウ | オサムシ | ホソアシオオズナガゴミムシ | <i>Pterostichus gracilitarsis</i> | 情報不足 | 生息地限定 | 2010年新種記載 | | |
| コウチュウ | オサムシ | エサキクロヒラタゴミムシ | <i>Colpodes esakii</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヨツボンヒラタゴミムシ | <i>Agonum quadripunctatum</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | オグラヒラタゴミムシ | <i>Agonum ogurae</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | サドモリヒラタゴミムシ | <i>Colpodes limodromoides</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ベーツヒラタゴミムシ | <i>Euplynes batesi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|-----------------|-------------------------------------|------------|-------|---|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | ホラアナヒラタゴミムシ | <i>Jujiroa nipponica</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | クロサホソヒラタゴミムシ | <i>Trephionus kurosai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ニセムナビロモリヒラタゴミムシ | <i>Hikosanoagonum bungo</i> | 情報不足 | 生息地限定 | 2015年新種記載 | | |
| コウチュウ | オサムシ | キアシマルガタゴミムシ | <i>Amara ampliata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | シコクフトゴモクムシ | <i>Chydaeus shikokuensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | タナカツヤハネゴミムシ | <i>Harpalomimetes orbicollis</i> | 情報不足 | | 学名変更 (2002年版では種小名 <i>andrewesi</i>) | 情報不足 | 情報不足 |
| コウチュウ | オサムシ | カラカネゴモクムシ | <i>Platymetopus flavilabris</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ハネグロツヤゴモクムシ | <i>Trichotichnus lucidus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | オオクロツヤゴモクムシ | <i>Trichotichnus lewisi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ツルギヤマツヤゴモクムシ | <i>Trichotichnus tsurugiyamanus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | クビアカツヤゴモクムシ | <i>Trichotichnus longitarsis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | キュウシュウツヤゴモクムシ | <i>Trichotichnus vespertinus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ルイスヒメゴモクムシ | <i>Bradycellus lewisi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|--------------|--------------------------------------|------------|----|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | イツホシマメゴモクムシ | <i>Stenolophus quinquepustulatus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | クロズカタキバゴミムシ | <i>Badister nigriceps</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヨツボンゴミムシ | <i>Panagaeus japonicus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | オオキベリアオゴミムシ | <i>Epomis nigricans</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | コキベリアオゴミムシ | <i>Chlaenius circumdatus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | コアトワアオゴミムシ | <i>Chlaenius hamifer</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | カタボンホナシゴミムシ | <i>Perigona acupalpoides</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | クロズホナシゴミムシ | <i>Perigona nigriceps</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | カドツブゴミムシ | <i>Pentagonica angulosa</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ダイミョウツブゴミムシ | <i>Pentagonica daimaiella</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | クロツブゴミムシ | <i>Pentagonica subcordicollis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | トゲアトキリゴミムシ | <i>Aephnidius adelioides</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | カワツブアトキリゴミムシ | <i>Amphimenes piceolus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-------|-----------------|--|------------|----|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | メダカアトキリゴミムシ | <i>Orionella lewisii</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | コアオアトキリゴミムシ | <i>Taicona aurata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | フタツメゴミムシ | <i>Lebidia bioculata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | クロヘリアトキリゴミムシ | <i>Parena nigrolineata nipponensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ヒラタアトキリゴミムシ | <i>Parena cavipennis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | オオヨツアナアトキリゴミムシ | <i>Parena perforata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | オオヒラタアトキリゴミムシ | <i>Parena laesipennis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ミヤマジュウジアトキリゴミムシ | <i>Lebia sylvarum</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ジュウジアトキリゴミムシ | <i>Lebia retrofasciata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | キイロアトキリゴミムシ | <i>Philorhizus optimus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | チビミズアトキリゴミムシ | <i>Apristus cuprascens</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | マルチビゲンゴロウ | <i>Clypeodytes frontalis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | ホソクロマメゲンゴロウ | <i>Agabus miyamamotoi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|----------------|-------------------------------------|------------|-------|-----------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | エンマムシモドキ | エンマムシモドキ | <i>Syntelia histeroides</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | チビシデムシ | シコクチビシデムシ | <i>Catops hisamatsui</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | シデムシ | ヤマトモンシデムシ | <i>Nicrophorus japonicus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | シデムシ | ムナグロホソツヤシデムシ | <i>Apteroloma discicolle</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ハネカクシ | トサヤマツヤムネハネカクシ | <i>Quedius kawasawai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ハネカクシ | ツルギヤマツヤムネハネカクシ | <i>Quedius tsurugiensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ハネカクシ | ラカンツヤムネハネカクシ | <i>Quedius cephalotes</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | ルイスツノヒョウタンクワガタ | <i>Nigidius lewisi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | ミナミツヤハダクワガタ | <i>Ceruchus lignarius nodai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | コガネムシ | チドリムネミゾマグソコガネ | <i>Oxyomus ishidai</i> | 情報不足 | | 和名変更 (2002年版ではイシダマグソコガネ) | 情報不足 | |
| コウチュウ | コガネムシ | アイヌコブスジコガネ | <i>Trox setifer</i> | 情報不足 | 生息地限定 | | | |
| コウチュウ | クシヒゲムシ | クチキクシヒゲムシ | <i>Sandalus segnis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | コメツキムシ | ウグリチビマメコメツキ | <i>Quasimus ugriensis ugriensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-------------|-------------------|---------------------------------------|------------|-------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | コメツキムシ | オキチビマメコメツキ | <i>Quasimus uguiensis okicola</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ゴミムシダマシ | ゴモクムシダマシ | <i>Pedinus japonicus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ゴミムシダマシ | クロソソマダソコガネダマシ | <i>Bolitotrogus kurosonis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | アトコブゴミムシダマシ | アトコブゴミムシダマシ | <i>Phellopsis suberea</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ケブカヒラタカミキリ | <i>Nothorhina punctata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | クロサワヘリグロハナカミキリ | <i>Eustrangalia anticereductus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | アワヒメハナカミキリ | <i>Pidonia amentata</i> | 情報不足 | 生息地限定 | | | |
| コウチュウ | カミキリムシ | カタキハナカミキリ | <i>Pedostrangalia femoralis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | オガサワラチャイロカミキリ | <i>Comusis testacea</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | タカオメダカカミキリ | <i>Stenhomalus takaosanus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | オダヒゲナガコバネカミキリ | <i>Glaphyra gracilis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | クロサワヒメコバネカミキリ | <i>Epania septentrionalis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | リョウブモモフトヒメコバネカミキリ | <i>Epania shikokensis shikokensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|-----------------|----------------------------------|------------|----|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ツヤケシヒゲナガコバネカミキリ | <i>Molorchoepania mizoguchii</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヤマトチビコバネカミキリ | <i>Lepteptania japonica</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヤマトシロオビトラカミキリ | <i>Kazuoclytus lautoides</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | オオトラカミキリ | <i>Xylotrechus villioni</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヨコヤマトラカミキリ | <i>Epiclytus yokoyamai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | マツシタトラカミキリ | <i>Anaglyptus matsushitai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | エゾトラカミキリ | <i>Oligoenoplus rosti rosti</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | クビアカモモプトホソカミキリ | <i>Kurarua rhopalophoroides</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヨツボシシロオビゴマフカミキリ | <i>Mesosa mediofasciata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | フタスジゴマフカミキリ | <i>Mesosa cribrata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ヒトオビチビカミキリ | <i>Sybra unifasciata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | クリサビカミキリ | <i>Pterolophia castaneivora</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | エゾナガヒゲカミキリ | <i>Hirtaeschopalea nubila</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|---------------|--------------------------------------|------------|----|-----------------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | カミキリムシ | ハイイロツツクビカミキリ | <i>Cylindilla grisescens</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | キュウシュウトゲバカミキリ | <i>Rondibilis amanoi</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ハムシ | ヒゴトゲハムシ | <i>Dactylispa higoniae</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ゾウムシ | タカハントゲゾウムシ | <i>Dinorhopala takahashii</i> | 情報不足 | | 科名変更 (2002年版のヒゲナガゾウムシ科は誤記) | 情報不足 | |
| アミメカゲロウ | カマキリモドキ | ツマグロカマキリモドキ | <i>Climaciella quadrituberculata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| アミメカゲロウ | ウスバカゲロウ | オオウスバカゲロウ | <i>Heoclisia japonica</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| アミメカゲロウ | ウスバカゲロウ | ヒメウスバカゲロウ | <i>Pseudoformicaleo jacobsoni</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハエ | メバエ | ヤマトクチブトメバエ | <i>Leopoldius japonicus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハエ | ムシヒキアブ | コーカサスイシアブ | <i>Choerades caucasius</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| トビケラ | イワトビケラ | ムネカクトビケラ | <i>Ecnomus tenellus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| トビケラ | トビケラ | ベフミヤマトビケラ | <i>Pseudostenophylax befui</i> | 情報不足 | | 種名確定 (2002年版ではオンダケトビケラの一 種) | 情報不足 | |
| トビケラ | エグリトビケラ | クロツツトビケラ | <i>Uenoa tokunagai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | コウモリガ | シロテンコウモリ | <i>Palpifer sexnotata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|----------------|------------------------------------|------------|----------|--------------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| チョウ | スカシバガ | オキナフスカシバ | <i>Sesia okinawana</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | スカシバガ | キタスカシバ | <i>Sesia yezoensis</i> | 情報不足 | 過去の記録が疑問 | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | スカシバガ | ハチマガイスカシバ | <i>Toleria contaminata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | スカシバガ | キクビスカシバ | <i>Nokona feralis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | スカシバガ | ムラサキスカシバ | <i>Nokona purpurea</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | マルハキバガ | ヤシャブシキホリマルハキバガ | <i>Casmara agronoma</i> | 情報不足 | | 和名変更 (2002年版ではホソバキホリマルハキバガ) | 情報不足 | |
| チョウ | マダラガ | ミノウスバ | <i>Pryeria sinica</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | マダラガ | ウスバツバメガ | <i>Eleysma westwoodii</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | イラガ | ウスムラサキイラガ | <i>Austrapoda hepatica</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | カギバガ | オオギンモンカギバ | <i>Callidrepana hirayamai</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | シャクガ | マダラチズモンアオシャク | <i>Agathia lycaenaria chizumon</i> | 情報不足 | | 学名に亜種名追加 | 情報不足 | |
| チョウ | シャクガ | ノコバアオシャク | <i>Timandromorpha discolor</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | シャクガ | スモモエダシャク | <i>Angerona prunaria turbata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|-------------|-------------------------------|------------|----|---|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| チョウ | スズメガ | クロスキバホウジャク | <i>Hemaris affinis</i> | 情報不足 | | 学名修正 (2002年版では種小名が <i>fuciformis</i>) | 情報不足 | |
| チョウ | スズメガ | スキバホウジャク | <i>Hemaris radians</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | 絶滅危惧II類 |
| チョウ | シャチホコガ | アカシャチホコ | <i>Gangaridopsis citrina</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | シャチホコガ | アカネシャチホコ | <i>Peridea lativitta</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | シャチホコガ | エゾクシヒゲシャチホコ | <i>Ptilophora jezoensis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | キシタケンモン | <i>Acronicta catocaloidea</i> | 情報不足 | | 学名修正 (2002年版では属名が <i>Hylonycta</i>) | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | ニセタパコガ | <i>Heliocheilus fervens</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | サヌキキリガ | <i>Elwesia sugii</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | ヒマラヤハガタヨトウ | <i>Nycticia strigidisca</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | キモンクチバ | <i>Ophisma gravata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | キタエグリバ | <i>Calyptra hokkaida</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | ミミモンクチバ | <i>Anticarsia irrorata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | キバチ | クロヒラアシキバチ | <i>Tremex apicalis</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|-----------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| ハチ | キバチ | ナカネヒラアシキバチ | <i>Tremex nakanei</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | アリ | アシジロヒラフシアリ | <i>Technomyrmex albipes</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | アリ | トカラウロコアリ | <i>Trichoscapa membranifera</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | セイボウ | オオセイボウ | <i>Stilbum cyanurum</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | 情報不足 |
| ハチ | ドロバチ | ジュウジドロバチ | <i>Euodynerus trilobus</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | アナバチ | キバネアナバチ | <i>Isodontia maidli</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | アナバチ | フジジガバチ | <i>Ammophila atripes japonica</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | 準絶滅危惧 |
| ハチ | アナバチ | アカアシツチスガリ | <i>Cerceris albofasciata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | アナバチ | キスジツチスガリ | <i>Cerceris arenaria</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | コシブトハナバチ | シロスジヒゲナガハナバチ | <i>Eucera spurcatipes</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | コシブトハナバチ | ミツクリヒゲナガハナバチ | <i>Tetralonia mitsukurii</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| ハチ | コシブトハナバチ | シロスジコシブトハナバチ | <i>Amegilla quadrifasciata</i> | 情報不足 | | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ゾウムシ | ケブカトゲアシヒゲボソゾウムシ | <i>Phyllobius armatus</i> | 絶滅のおそれのある地域個体群 高知市円行寺～ 宇津野 | 生息地限定、生息環境が特殊 | | | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|--------------|--|---------------------------------|-----|------------------|---------------------------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | オサムシ | オキノシマヒメオサムシ | <i>Carabus japonicus okinoshimanus</i> | 絶滅のおそれのある地域個体群 宿毛市沖の島地域個体群 | | | 絶滅のおそれのある地域個体群 宿毛市沖の島地域個体群 | |
| コウチュウ | オサムシ | ワシオヒメオサムシ | <i>Carabus japonicus yoshiyukii</i> | 絶滅のおそれのある地域個体群 高知市鷲尾山周辺地域個体群 | | | 絶滅のおそれのある地域個体群 高知市鷲尾山周辺地域個体群 | |
| サソリモドキ | サソリモドキ | アマミサソリモドキ | <i>Typopeltis stimpsonii</i> | 除外 | 移入種 | 大月町以外でも定着が確認された。 | 絶滅危惧IB類 | |
| カゲロウ | ヒトリカゲロウ | チラカゲロウ | <i>Isonychia japonica</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | サナエトンボ | ウチワヤンマ | <i>Ictinogomphus clavatus</i> | 除外 | 移入種 | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | ヤンマ | アオヤンマ | <i>Aeschnophlebia longistigma</i> | 除外 | 移入種 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| トンボ | ヤンマ | ギンヤンマ | <i>Anax parthenope julius</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | ヤンマ | クロスジギンヤンマ | <i>Anax nigrofasciatus</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| トンボ | エゾトンボ | タカネトンボ | <i>Somatochlora uchidai</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| バッタ | バッタ | ショウリョウバッタモドキ | <i>Gonista bicolor</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| カメムシ | ツチカメムシ | ベニツチカメムシ | <i>Parastrachia japonensis</i> | 除外 | 移入種 | | 絶滅危惧IB類 | |
| カメムシ | キンカメムシ | アカギカメムシ | <i>Cantao ocellatus</i> | 除外 | 移入種 | | 絶滅のおそれのある地域個体群 土佐清水市地域個体群 | |
| カメムシ | カメムシ | トホシカメムシ | <i>Lelia decempunctata</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|-------------|---|------------|----------------------|-----------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | カワラゴミムシ | カワラゴミムシ | <i>Omophron aequalis</i> | 除外 | 過去の記録が疑問 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | ウミホソチビゴミムシ | <i>Perileptus morimotoi</i> | 除外 | 普通種 | | 絶滅危惧IA類 | 準絶滅危惧 |
| コウチュウ | オサムシ | アオゴミムシ | <i>Chlaenius pallipes</i> | 除外 | 過去の記録が疑問 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサムシ | フタモンクビナゴミムシ | <i>Archicolluris bimaculata nipponica</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | スジゲンゴロウ | <i>Hydaticus satoi</i> | 除外 | 過去の記録が疑問 | | 情報不足 | 絶滅 |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | サワダマメゲンゴロウ | <i>Platambus sawadai</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | ゲンゴロウ | ホソセスジゲンゴロウ | <i>Copelatus weymarni</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | コルリクワガタ | <i>Platyceus acuticollis</i> | 除外 | 生息地限定だが、生息環境は安定している。 | 国有林保護林内に生息。生息地内では 個体数多い。 | 情報不足 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | ニセコルリクワガタ | <i>Platyceus sugitai</i> | 除外 | 生息地限定だが、生息環境は安定している。 | 国有林保護林内に生息。生息地内では 個体数多い。 | 情報不足 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | ルリクワガタ | <i>Platyceus delicatulus delicatulus</i> | 除外 | 生息地限定だが、生息環境は安定している。 | 国有林保護林内に生息。生息地内では 個体数多い。 | 情報不足 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | マダラクワガタ | <i>Aesalus asiaticus</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | オオクワガタ | <i>Dorcus hopei</i> | 除外 | 過去の記録が疑問 | | 情報不足 | 絶滅危惧II類 |
| コウチュウ | クワガタムシ | オニクワガタ | <i>Prismognathus angularis angularis</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|--------------|--|------------|-------------------|----------------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | クワガタムシ | チビクワガタ | <i>Figulus binodulus</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | クワガタムシ | ヒラタクワガタ | <i>Serrognathus platymelus pilifer</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | センチコガネ | オオセンチコガネ | <i>Phelotrupes auratus</i> | 除外 | 個体数増加 | 属名変更 ニホンジカ増加に伴う餌(シカ糞)量増加の環境変化 | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | コガネムシ | ミヤマダイコクコガネ | <i>Copris pecuarius</i> | 除外 | 個体数増加 | ニホンジカ増加に伴う餌(シカ糞)量増加の環境変化 | 情報不足 | |
| コウチュウ | コガネムシ | ゴホンダイコクコガネ | <i>Copris acutidens</i> | 除外 | 個体数増加 | ニホンジカ増加に伴う餌(シカ糞)量増加の環境変化 | 情報不足 | |
| コウチュウ | コガネムシ | ケブカマグソコガネ | <i>Aphodius eccoptus</i> | 除外 | 個体数増加 | ニホンジカ増加に伴う餌(シカ糞)量増加の環境変化 | 情報不足 | |
| コウチュウ | コガネムシ | イガクロツヤマグソコガネ | <i>Aphodius igai tusurugianus</i> | 除外 | 個体数増加 | ニホンジカ増加に伴う餌(シカ糞)量増加の環境変化 | 情報不足 | |
| コウチュウ | コガネムシ | コケシマグソコガネ | <i>Rhysssemus samurai</i> | 除外 | 個体数増加 | ニホンジカ増加に伴う餌(シカ糞)量増加の環境変化 | 情報不足 | |
| コウチュウ | コガネムシ | アカマダラコガネ | <i>Poecilophilides rusticola</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | 情報不足 |
| コウチュウ | コガネムシ | コカブトムシ | <i>Eophileurus chinensis</i> | 除外 | 生息地限定だが、個体数は少なくない | 県西部では個体数が多い。 | 情報不足 | |
| コウチュウ | タマムシ | ヤマトタマムシ | <i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | ジョウカイボン | カワラニンフジョウカイ | <i>Podabrus owarianus</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | テントウムシ | オオテントウ | <i>Synonycha grandis</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|----------------|---|------------|-------------------|-------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| コウチュウ | カミキリムシ | トサヒメハナカミキリ | <i>Pidonia approximata</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | チュウジョウヒメハナカミキリ | <i>Pidonia chujoi</i> | 除外 | 生息地限定だが、個体数は少なくない | 石鎚山系に広く分布 | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | トラフホソバネカミキリ | <i>Thranus variegatus variegatus</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | カエデヒゲナガコバネカミキリ | <i>Glaphyra ishiharai</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | フトオビカンボウトラカミキリ | <i>Hayashiclytus acutivittis inscriptus</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | カミキリムシ | クワカミキリ | <i>Apriona japonica</i> | 除外 | 個体数増加 | | 準絶滅危惧 | |
| コウチュウ | ヒゲナガゾウムシ | シロモンオオヒゲナガゾウムシ | <i>Mecotropis kyushuensis</i> | 除外 | 移入種 | | 情報不足 | |
| コウチュウ | オサゾウムシ | オオシロオビゾウムシ | <i>Cryptoderma fortunei</i> | 除外 | 移入種 | | 準絶滅危惧 | |
| アミメカゲロウ | ヘビトンボ | ヤマトクロスジヘビトンボ | <i>Parachauliodes japonicus</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| アミメカゲロウ | ヘビトンボ | タイリククロスジヘビトンボ | <i>Parachauliodes continentalis</i> | 除外 | 普通種 | 和名修正（2002年版ではクロスジヘビトンボ） | 準絶滅危惧 | |
| シリアゲムシ | シリアゲムシ | シコクシリアゲ | <i>Panorpa ishiharai</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| シリアゲムシ | シリアゲムシ | ブライヤシリアゲ | <i>Panorpa pryeri</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| ハエ | クモバエ | ケブカクモバエ | <i>Penicillidia jenynsii</i> | 除外 | 生息環境が特殊だが、普通種 | コウモリ目に寄生するため発見困難。 | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|--------|-------------|---------------------------------------|------------|-------------|--------------------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| トビケラ | イワトビケラ | イワトビケラの1種 | <i>Nyctiopylax</i> sp. | 除外 | 対象種不明 | | 情報不足 | |
| トビケラ | トビケラ | ムラサキトビケラ | <i>Eubasilissa regina</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シロチョウ | エゾスジグロシロチョウ | <i>Pieris napi japonica</i> | 除外 | 生息地限定だが、普通種 | 中山間から高標高地に分布 | 情報不足 | |
| チョウ | タテハチョウ | メスグロヒョウモン | <i>Damora sagana liane</i> | 除外 | 普通種 | 学名修正 (2002年版亜種名 <i>lione</i> は誤記) | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シジミチョウ | ウラゴマダラシジミ | <i>Artopoetes pryeri pryeri</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シジミチョウ | ミズイロオナガシジミ | <i>Antigius attilia attilia</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シジミチョウ | オオミドリシジミ | <i>Favonius orientalis orientalis</i> | 除外 | 普通種 | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | イラガ | イラガ | <i>Monema flavescens</i> | 除外 | 普通種 | 害虫 | 情報不足 | |
| チョウ | ミノガ | オオミノガ | <i>Eumeta japonica</i> | 除外 | 普通種 | 害虫 | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | シャクガ | クロオビシロナミシャク | <i>Trichopteryx ustata</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |
| チョウ | スズメガ | オオシモフリスズメ | <i>Langia zenzeroides</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | ナカオビキリガ | <i>Dryobotodes intermissa</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | ウスイロキシタバ | <i>Catocala intacta</i> | 除外 | 普通種 | | 情報不足 | |

高知県レッドリスト(昆虫類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|------|---------------|------------------------------|------------|-------------|------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| チョウ | ヤガ | クロモンシタバ | <i>Ophiusa tirhaca</i> | 除外 | 移入種 | | 準絶滅危惧 | |
| チョウ | ヤガ | キマエコノハ | <i>Eudocima salamina</i> | 除外 | 移入種 | | 情報不足 | |
| チョウ | ヤガ | ネジロフトクチバ | <i>Serrodes campana</i> | 除外 | 移入種 | | 情報不足 | |
| ハチ | ハバチ | イトウハバチ | <i>Neocolochelyna itoi</i> | 除外 | 生息地限定だが、普通種 | 確認地域は石鎚山系 | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| ハチ | アナバチ | サトセナガアナバチ | <i>Ampulex dissector</i> | 除外 | 移入種 | | 絶滅危惧IB類 | |
| ハチ | セイボウ | イラガ(イツツバ)セイボウ | <i>Chrysis shanghaiensis</i> | 除外 | 移入種 | イラガに寄生している。寄生率は地域で異なる。 | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(陸産貝類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|-------------|------------------------------------|------------|---------------------------------|----|----------------|------------------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| - (原始紐舌類) | ヤマタニシ | クビナガムシオイ | <i>Cipangocharax placeonovitas</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定、希少、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | シコクタケノコギセル | <i>Stereophaedusa affinis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、分布域限定、希少 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | ハナコギセル | <i>Reinia euholostoma</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地減少、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | ヒラコベソマイマイ | <i>Satsuma wiegmanni</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息地減少、生息条件悪化、分布域限定 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | トサビロウドマイマイ | <i>Nipponochloritis tosana</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息条件悪化、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | キセルガイモドキ | ホソキセルガイモドキ | <i>Mirus rugulosus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 希少、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠB類 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | キセルガイ | タビトギセル | <i>Megalophaedusa aratorum</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠB類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | シンチュウギセル | <i>Megalophaedusa aenea</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠB類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | トクサギセル | <i>Stereophaedusa hiraseana</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息地減少、生息条件悪化、希少 | | 絶滅危惧ⅠB類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | アズママルクチコギセル | <i>Reinia masaoi</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息地減少、生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠB類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | トカラコギセル | <i>Reinia ashizuriensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠB類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | パツラマイマイ | パツラマイマイ | <i>Discus pauper</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠB類 | 絶滅のおそれのある地域個体群 近畿以西 |
| 真有肺 | キセルガイ | イヨギセル | <i>Megalophaedusa iyoensis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息条件悪化、希少 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |

高知県レッドリスト(陸産貝類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|---------------|---------------------------------------|------------|--------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| - (原始紐舌類) | ヤマタニシ | サルダアツブタムシオイ | <i>Awalycaeus yanoshokoe</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 分布域限定、希少、生息環境特殊 | | | |
| 真有肺 | キセルガイモドキ | ムロトキセルガイモドキ | <i>Mirus murotonis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、分布域限定、希少 | | | |
| 真有肺 | キセルガイ | シロハダギセル | <i>Tosaphaedusa akiratadai</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 分布域限定、希少、生息環境特殊 | | | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | カタマメマイマイ | <i>Lepidopisum conospira</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 分布域限定、生息環境特殊 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | カワリダネピロウドマイマイ | <i>Nipponochloritis silvatica</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 分布域限定、希少、生息環境特殊 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | ムロトマイマイ | <i>Euhadra murotonis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定 | | | |
| - (原始紐舌類) | ヤマタニシ | アツブタムシオイ | <i>Awalycaeus abei</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息条件悪化、生息環境特殊 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| - (原始紐舌類) | ゴマガイ | マルクチゴマガイ | <i>Diplommatina circumstomata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 分布域限定 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | ナタネガイモドキ | ナタネガイモドキ | <i>Pyramidula conica</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | キセルガイ | カモハラギセル | <i>Stereophaedusa kamoharai</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 分布域限定、希少 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | タキギセル | <i>Stereophaedusa hemileuca takii</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、生息条件悪化、生息環境特殊 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | ナカムラギセル | <i>Tosaphaedusa cincticollis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | イイジマギセル | <i>Stereophaedusa ijimae</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、生息地減少、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅰ類 |

高知県レッドリスト(陸産貝類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|-------------|---|------------|---------------------------|-----------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| 真有肺 | キセルガイ | オキノシマナミギセル | <i>Stereophaedusa japonica okinoshimana</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | 2002年版では、ナミギセルと表記。 | 絶滅危惧Ⅱ類 | |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | オオツヤママイマイ | <i>Satsuma textilis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息条件悪化、生息環境特殊 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | ヒラコウベマイマイ | <i>Aegista kobensis discus</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息条件悪化、分布域限定 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | タシママイマイ | <i>Aegista cavitectum</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、希少、生息環境特殊 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | キセルガイ | コシボソギセル | <i>Megalophaedusa nankaidoensis nankaidoensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | キセルガイ | オオギセル | <i>Megalophaedusa martensi</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、生息地減少、生息条件悪化 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | キセルガイ | モリヤギセル | <i>Stereophaedusa vasta moriyai</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | ベッコウマイマイ | シコクベッコウ | <i>Bekkochlamys shikokuensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地減少、生息条件悪化、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | 情報不足 |
| 真有肺 | シタラ | アワクリイロベッコウ | <i>Japanochlamys awaensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地減少、生息条件悪化、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | ハダカケマイマイ | <i>Aegista aemula hadaka</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | カドバリオトメマイマイ | <i>Aegista carinata</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、分布域限定、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | スミスオトメマイマイ | <i>Aegista smithiana</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、生息条件悪化、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | ギュリキマイマイ | <i>Euhadra eoa gulicki</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地減少、生息条件悪化、分布域限定 | 2002年版では、ギュリキマイマイと表記。 | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(陸産貝類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|-----------|-------------|--|------------|---------------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| 真有肺 | キセルガイ | シタヅキギセル | <i>Megalophaedusa platyderula</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、生息地減少、分布域限定、生息環境特殊 | | | |
| 真有肺 | ハワイマイマイ | ノミガイ | <i>Tornatellides boeningi</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | キバサナギガイ | スナガイ | <i>Gastrocopta armigerella armigerella</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定、希少、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | ミジンマイマイ | ミジンマイマイ | <i>Vallonia costata</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定、希少、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | |
| 真有肺 | キセルガイ | ホソヒメギセル | <i>Megalophaedusa gracilispira</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定、希少 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | オカモノアラガイ | ナガオカモノアラガイ | <i>Oxyloma hirasei</i> | 準絶滅危惧 | 生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | ミヤマオオベソマイマイ | <i>Aegista proba goniosomoides</i> | 準絶滅危惧 | 個体数減少、生息条件悪化 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | コケマイマイ | <i>Aegista aemula subdivesta</i> | 準絶滅危惧 | 生息条件悪化、分布域限定 | | 準絶滅危惧 | |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | ヒラケマイマイ | <i>Aegista pressa</i> | 準絶滅危惧 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | ヤマガマイマイ | <i>Euhadra dixonii montivaga</i> | 準絶滅危惧 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定 | | 準絶滅危惧 | |
| 真有肺 | キセルガイ | ニセコスジギセル | <i>Megalophaedusa ventriluna</i> | 準絶滅危惧 | 個体数減少、生息地減少、生息条件悪化、分布域限定、生息環境特殊 | | | |
| 真有肺 | キバサナギガイ | ナタネキバサナギガイ | <i>Vertigo eogea eogea</i> | 情報不足 | 分布域限定、生息環境特殊 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 高腹足 | カワザンショウガイ | ホラアナゴマオカチグサ | <i>Cavernacmella kuzuensis</i> | 情報不足 | 分布域限定、希少、生息環境特殊 | | 情報不足 | 絶滅危惧Ⅰ類 |

高知県レッドリスト(陸産貝類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|----------|-------------|-------------------------------------|------------|--------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | シコクビロウドマイマイ | <i>Nipponochloritis hiromitadae</i> | 除外 | I類のトサビロウドマイマイと同種とされたため除外 | | 絶滅危惧II類 | |
| 真有肺 | オカモノアラガイ | ヒメオカモノアラガイ | <i>Succinea lyrata</i> | 除外 | 異常繁殖することがあるため除外 | | 準絶滅危惧 | |
| 真有肺 | ナンバンマイマイ | オビシメクチマイマイ | <i>Satsuma zonata</i> | 除外 | ランク外のシメクチマイマイと同種とされたため除外 | | 準絶滅危惧 | |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産貝類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|-------------------|-----------|-------------|-------------------------------------|------------|------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| Cycloneritimorpha | アマオブネ | ヒロクチカノコ | <i>Neripteron (Dostia) pileolus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 分布域限定、希少 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 準絶滅危惧 |
| 真有肺 | オカミミガイ | ナラビオカミミガイ | <i>Auriculastra duplicata</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 分布域限定 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 水棲 | ヒラマキガイ | ミズコハクガイ | <i>Gyraulus soritai</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 生息地減少、分布域限定、生息環境特殊 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| カサガイ | ユキノカサガイ | ツボミ | <i>Patelloida conulus</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息地減少、生息環境特殊 | | | 準絶滅危惧 |
| - (オニノツノガイ上科) | ウミニナ | イボウミニナ | <i>Btillaria zonalis</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息地減少 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| フネガイ | フネガイ | ヒメアカガイ | <i>Scapharca troscheli</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、分布域限定 | | | 絶滅危惧Ⅰ類 |
| ザルガイ | シオサザナミ | マスオガイ | <i>Psammotaena elongata</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、分布域限定 | | | 準絶滅危惧 |
| ザルガイ | シオサザナミ | ムラサキガイ | <i>Soletellina diphos</i> | 絶滅危惧Ⅰ類 | 個体数減少、生息条件悪化、分布域限定 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 高腹足 | ミズゴマツボ | ミズゴマツボ | <i>Stenothyra japonica</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 分布域限定 1か所では広範囲で確認のため変更 | | 絶滅危惧ⅠB類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| イシガイ | イシガイ | ニセマツカサガイ | <i>Inversiunio yanagawensis</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 個体数減少、生息地減少 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| Cycloneritimorpha | アマオブネ | ヒメカノコ | <i>Clithon oualaniense</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 分布域限定、生息地減少 | | | 準絶滅危惧 |
| 高腹足 | クビキレガイ | ヤマトクビキレガイ | <i>Truncatella pfeifferi</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 分布域限定、生環境特殊 | | | |
| 高腹足 | カワザンショウガイ | カハタレカワザンショウ | <i>Nanivitrea ? sp.</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 分布域限定 | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産貝類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|-------------------|-----------|-----------------|---|------------|---------------------------------|-------------------------|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| - (バカガイ上科) | バカガイ | ユキガイ | <i>Meropesta nicobarica</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 生息地減少、分布域限定 | | | 準絶滅危惧 |
| - (ウロコガイ上科) | ウロコガイ | マゴコロガイ | <i>Peregrinamor ohshimai</i> | 絶滅危惧Ⅱ類 | 分布域限定、生息環境特殊 | | | 準絶滅危惧 |
| - (オニノツノガイ上科) | フトヘナタリ | カワアイ | <i>Pirenella pupiformis</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定 数か所で群生確認のため変更 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| - (オニノツノガイ上科) | フトヘナタリ | ヘナタリ | <i>Pirenella nipponica</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定 数か所で群生確認のため変更 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 準絶滅危惧 |
| Cycloneritimorpha | コハクカノコ | ツバサコハクカノコ | <i>Neritilia mimotoi</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定 各地の河口域で確認のため変更 | 2002年版では、コハクカノコ属の1種と表記。 | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| - (オニノツノガイ上科) | フトヘナタリ | フトヘナタリ | <i>Cerithidea moerchii</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定 各地で群生確認のため変更 | | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| - (オニノツノガイ上科) | オニノツノガイ | コゲツノブエ | <i>Cerithium corallium</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定 | | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 高腹足 | カワザンショウガイ | ヒナタムシヤドリカワザンショウ | <i>Assiminea</i> aff. <i>parasitologica</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定、希少 ムシヤドリカワザンショウから同定変更. | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 高腹足 | カワザンショウガイ | ヨシダカワザンショウ | <i>Assiminea</i> ? <i>yoshidayukioi</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定、希少 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 高腹足 | カワザンショウガイ | クリイロカワザンショウ | <i>Angustassiminea castanea</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| 水棲 | ヒラマキガイ | ヒラマキガイモドキ | <i>Polypylis hemisphaerula</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| イシガイ | イシガイ | タガイ | <i>Anodonta japonica</i> | 準絶滅危惧 | 個体数減少、生息地減少 | | 準絶滅危惧 | |
| ザルガイ | シオサザナミ | ハザクラ | <i>Gari minor</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定 | | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |

高知県レッドリスト(汽水・淡水産貝類)

| レッドリストの改訂対象種 | | | | 改訂後 ランク | 理由 | 備考 | 高知県2002 ランク | 環境省2017年 ランク |
|--------------|---------|--------------------|-----------------------------------|------------|--------------------------------|----|----------------|-----------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | | | | |
| 水棲 | ヒラマキガイ | クルマヒラマキガイ | <i>Helicorbis cf. cantori</i> | 準絶滅危惧 | 分布域限定 数か所で確認のため変更 | | 情報不足 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 高腹足 | ミズゴマツボ | ウミゴマツボ(エドガワミズゴマツボ) | <i>Stenothyra edogawensis</i> | 準絶滅危惧 | 生息地減少、分布域限定 | | | 準絶滅危惧 |
| イシガイ | イシガイ | ヌマガイ | <i>Anodonta lauta</i> | 準絶滅危惧 | 個体数減少 | | | |
| イシガイ | イシガイ | イシガイ | <i>Unio douglasiae</i> | 情報不足 | 過去に記録があるが、国内移入の可能性が大きいため変更 | | 絶滅危惧ⅠA類 | |
| イシガイ | イシガイ | マツカサガイ | <i>Pronodularia japonensis</i> | 情報不足 | 過去に記録があるが、別種又は国内移入の可能性が大きいため変更 | | 絶滅危惧ⅠA類 | 準絶滅危惧 |
| 高腹足 | ミズツボ | コウチミジンツボ | <i>Akiyoshia morimotoi</i> | 情報不足 | 生息環境特殊 地下水生のため調査困難で情報不足 | | 情報不足 | 情報不足 |
| - (原始紐舌類) | エゾマメタニシ | ヒメマルマメタニシ | <i>Gabbia kiusiuensis</i> | 情報不足 | 分布域限定 過去の記録なし | | | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| - (ウロコガイ上科) | ウロコガイ | スジホシムシヤドリガイ | <i>Nipponomysella subtruncata</i> | 情報不足 | 分布域限定、生息環境特殊 過去の記録なし | | | 準絶滅危惧 |

注目種について

1. 注目種について

本県で身近に見られている野生動物が、全国的には希少であったり、特徴のある分布や生息状況であったりすることを県民に広く理解してもらい、生物多様性に興味を持ち、次世代につながることを期待し、レッドリスト各カテゴリーのいずれにも該当しないが、本県の自然を代表すると考えられる種を注目種として選定した。

2. 選定の経緯

高知県レッドデータブック（動物編）改訂委員会において、分類群ごとに、高知県レッドリスト（動物編）改訂作業と並行して選定を行った。

3. 選定要件

| 区分及び基本概念 | 具体的要件 |
|--|-------------------------------|
| 高知県注目種 Noteworthy species 本県では、「絶滅」から「情報不足」までの各カテゴリー及び「絶滅のおそれのある地域個体群」のいずれにも該当しないが、特徴ある分布又は生息状況から本県の自然を代表すると考えられる種 | 次のいずれかに該当し、高知県の自然を代表すると考えられる種 |
| 固有種 | 本県にのみ生息している。 |
| 分布北限・南限種 | 本県の生息地が分布の北限又は南限となっている。 |
| 全国的希少種 | 本県では普通であるが、全国的には希少である。 |
| 隔離分布種 | 本県の生息地が他の生息地から地理的に隔離されている。 |

注目種リスト

哺乳類注目種

| 注目種対象種 | | | | 選定理由 | 備考 |
|--------|----|-------|--------------------|-------|---------------------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | |
| ネズミ | リス | ニホンリス | <i>Sciurus lis</i> | 分布南限種 | 本県の生息地が分布の南限となっている可能性がある。 |

鳥類注目種

| 注目種対象種 | | | | 選定理由 | 備考 |
|--------|-------|-------|------------------------------|--------|--|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | |
| コウノトリ | コウノトリ | コウノトリ | <i>Ciconia boyciana</i> | 全国的希少種 | 国内で繁殖させた放鳥個体が四国内で定着しはじめている。県内に飛来した個体が定着する可能性があるため注目する。 |
| スズメ | ホオジロ | アオジ | <i>Emberiza spodocephala</i> | 分布南限種 | 低山から平地で越冬する個体数が多い。四国山地が国内の繁殖南限地域の可能性があるため注目する。 |

爬虫類注目種

| 注目種対象種 | | | | 選定理由 | 備考 |
|--------|------|---------|--------------------------|--------|-------------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | |
| カメ | イシガメ | ニホンイシガメ | <i>Mauremys japonica</i> | 全国的希少種 | 環境省のレッドリストでは準絶滅危惧 |

両生類注目種

| 注目種対象種 | | | | 選定理由 | 備考 |
|--------|-----|---------|----------------------------|--------|-------------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | |
| 有尾 | イモリ | アカハライモリ | <i>Cynops pyrrhogaster</i> | 全国的希少種 | 環境省のレッドリストでは準絶滅危惧 |

汽水・淡水産魚類注目種

| 注目種対象種 | | | | 選定理由 | 備考 |
|--------|-----|-------|----------------------------------|--------|-------------------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | |
| スズキ | アカメ | アカメ | <i>Lates japonicus</i> | 全国的希少種 | 分布の中心地 |
| スズキ | ハゼ | ボウズハゼ | <i>Sicyopterus japonicus</i> | 全国的希少種 | タイプ産地。未成魚は感潮域で冬季にも見られる。 |
| スズキ | ハゼ | クボハゼ | <i>Gymnogobius scrobiculatus</i> | 全国的希少種 | 県内では多産するが、他県で減少。 |

汽水・淡水産十脚甲殻類注目種

| 注目種対象種 | | | | 選定理由 | 備考 |
|--------|-----------|------------|-------------------------------|--------|----|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | |
| 十脚 | ケブカガニ | マキトラノオガニ | <i>Pilumnopus makianus</i> | 全国的希少種 | |
| 十脚 | モクズガニ | 台湾ンヒライソモドキ | <i>Ptychognathus ishii</i> | 全国的希少種 | |
| 十脚 | ムツハアリアケガニ | カワスナガニ | <i>Deiratonotus japonicus</i> | 全国的希少種 | |
| 十脚 | オサガニ | ヒメヤマトオサガニ | <i>Macrophthalmus banzai</i> | 全国的希少種 | |

注目種リスト

昆虫類注目種

| 注目種対象種 | | | | 選定理由 | 備考 |
|--------|--------|----------------------|-------------------------------|-------|----|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | |
| バッタ | カマドウマ | イシカワカマドウマ | <i>Atachycines horazumi</i> | 固有種 | |
| チョウ | アゲハチョウ | ウスバシロチョウ (ウスバアゲハ) | <i>Parnassius citrinarius</i> | 分布南限種 | |

陸産貝類注目種

| 注目種対象種 | | | | 選定理由 | 備考 |
|-----------|------|--------|-----------------------------|------|----|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | |
| - (原始紐舌類) | ゴマガイ | ノミゴマガイ | <i>Diplommatina gibbera</i> | 固有種 | |

汽水・淡水産貝類注目種

| 注目種対象種 | | | | 選定理由 | 備考 |
|---------------|--------|----------|-------------------------------|--------|---------------------------|
| 目 | 科 | 種 | 学名 | | |
| - (オニノツノガイ上科) | トゲカワニナ | タケノコカワニナ | <i>Stenomelania crenulata</i> | 全国的希少種 | 汽水産 環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類 |